# 診療科のご案内

## 旭川赤十字病院

Asahikaw Red Cross Hospital

## 2022年

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

旭川赤十字病院

旭川赤十字病院

# Contents


## ご挨拶

## 診療科のご紹介

糖尿病・内分泌内科・・ 4
呼吸器内科・・・・・・ 6
消化器内科・・・・・・ 8
循環器内科・・・・・・12
腎臓内科・・・・・・・14
脳神経外科・・・・・・16
小児科・・・・・・・・20
外科・・・・・・・・・22
整形外科・・・・・・・26
形成外科・・・・・・・28
心臓血管外科・・・・・30
呼吸器外科・・・・・・32
泌尿器科・・・・・・・34
産婦人科・・・・・・・36
眼科・・・・・・・・・37
耳鼻咽喉科・・・・・38
歯科口腔外科・・・・41
脳神経内科・・・・・44
総合診療科・・・・・46
血液・腫瘍内科・・・47
皮膚科・・・・・・・48
放射線科・・・・・・49
地域連携科・・・・・50
病理診断科・・・・・50
麻酔科・・・・・・・51
救命救急センター・・52

診療予約手順について・・・・・・・・・・・・・・・・53
医療機器の共同利用について・・・・・・・・・・・・56
開放病床について・・・・・・・・・・・・・・・・・62
たいせつ安心i医療ネットのご案内・・・・・・・・・ 63
医療支援センターのご案内・・・・・・・・・・・・・64
旭川赤十字病院ホットラインのご案内・・・・・・・・66

# ご挨拶

旭川赤十字病院　院長　牧野　憲一

旭川赤十字病院が旭川にて医療提供行うようになり2023年で丁度100年の節目を迎えることになります。1978年に救命救急センターを併設してからは、道北地区の救急医療の最後の砦としての役割を担ってきました。この役割は現在も継続しておりますが、旭川赤十字病院が地域から求められるものは時代とともに変化していると感じています。特に、2020年のcovid-19の襲来が引き起こした感染医療のニーズは嘗て経験したことのないものでした。個々の医療機関が単独で対応していたのでは対応しきれず、地域が協力して対応することが求められました。従来、感染症病床も持たず、感染症への対応能力のなかった旭川赤十字病院は多くのcovid-19患者を受け入れるべく設備改修を行い、全診療科の協力を得て対応することが出来ました。

これから旭川赤十字病院は新たな100年に飛び込んでいきます。新たな100年は今までとは異なっています。地域が変化しています。地域の医療を支える体制が変化しています。医療のみならず介護という100年前にはなかったカテゴリーとの連携も必要です。

このような環境の中で、旭川赤十字病院は救急医療を中心として、感染対応、老人医療、がん診療など地域が求める医療を提供していきます。しかも、最高水準の医療を。旭川赤十字病院は大学病院本院群と同等かそれ以上の医療水準であるとされるDPC特定病院群の病院です。さらに急性期医療に対する対応が極めて優れている病院のみが取得できる急性期充実体制加算も道北地域で唯一取得しています。今年からはダビンチによる手術も開始しました。脳血管疾患においては従来から高い水準にあった開頭術に加えて血管内治療の体制も充実させました。これからも最先端の高度急性期医療提供体制を整え、地域をリードする病院として道北地区の医療に貢献していきます。

これからも旭川赤十字病院を宜しくお願い致します。

# 糖尿病・内分泌内科　Diabetes and Endocrinology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

糖尿病・内分泌内科では主に糖尿病と、甲状腺のような内分泌疾患、肥満などを診療しています。現在4人の医師で、外来と病棟を担当しています。病棟では自科の患者さんだけではなく、手術や救急入院を含む他科入院患者の血糖コントロールも担当しています。

## 治療方針

糖尿病ではたくさんある内服薬、インスリン、GLP-1などを個人個人の病気の性質や、生活に合わせて調整しています。連続血糖モニタリング（CGM）による血糖日内変動を見ることも積極的に行っています。1型糖尿病患者さんではインスリンポンプによる持続インスリン皮下注射療法 （CSII）や、CSIIとCGMを組み合わせた治療も行っています。

糖尿病認定看護師2名、糖尿病に関わる特定行為看護師2名、糖尿病療養指導士の資格を有するスタッフ14名で、糖尿病患者さんの療養のサポートや相談を担当しています。食事や運動の方法、インスリンの打ち方や自己血糖測定器の扱い方、飲み薬の注意点、足の診察（フットケアと言います）などを専門的に指導してくれる看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士とともにチーム医療を実践しています。

早期からの良好なコントロール維持と、合併症の重症化予防の目的で、地域の医療機関と連携して、通常はかかりつけ医で糖尿病の治療を続け、定期的な合併症のチェックや糖尿病治療の見直しなどのために半年から1年に1回当科を受診してもらう「糖尿病地域連携パス」も推進しています。

内分泌疾患や高度肥満などの専門的な精査、治療なども行っております。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 安孫子（あびこ）　亜津子（あつこ） | 副院長<br>部　長 | **専門分野：**糖尿病学<br>医学博士<br>日本内科学会認定内科医・総合内科専門医<br>日本糖尿病学会専門医・研修指導医<br>日本糖尿病協会栄養指導医 | 平成4年 |
| 辻（つじ）　賢（けん） | 副部長 | **専門分野：**糖尿病<br>日本内科学会認定内科医<br>日本糖尿病学会専門医<br>日本糖尿病協会療養指導医 | 平成15年 |
| 滝山（たきやま）　貴央（たかお） | 医　師 | **専門分野：**糖尿病・内分泌内科 | 平成29年 |
| 宿田（しゅくだ）　夕季（ゆうき） | 医　師 | **専門分野：**糖尿病 | 平成30年 |

## 診療予定表

（初診：8：00～11：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 内分泌外来 | 滝 山 | 安孫子 | 辻 | 滝 山 | 宿 田 |
| 糖尿病外来1 | 安孫子 | 宿 田 | | 宿 田 | 辻 |
| 糖尿病外来2 | 辻 | | 滝 山 | 安孫子 | 安孫子 |

## 診療部長よりひとこと

当科では早期の糖尿病治療介入から、急性期治療、周術期管理、慢性合併症の評価と治療、血糖コントロールの難しい患者さんの治療など、幅広い対応を行っております。患者さんの個々の生活に沿った治療法を提案できるよう、多職種でのチーム医療、地域連携を重視した患者さんのケアを行っております。治療に難渋したり、迷うことがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

# 呼吸器内科 Respiratory Medicine

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

呼吸器内科は現在3名の医師で診療に当たっており、主に肺がん、間質性肺炎などの呼吸器疾患、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性肺疾患の診療を行っています。日本呼吸器学会関連施設として、呼吸器内科領域において専門性が不可欠な疾患を中心に診療を行っております。

## 治療内容

（1）腫瘍疾患：肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、良性腫瘍など

（2）感染性疾患：重症呼吸器感染症（肺炎、胸膜炎、膿胸、肺化膿症）

（3）びまん性肺疾患：間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど

（4）気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎など

## 診療実積

| | 2020年度 | 2021年度 |
|---|---|---|
| 気管支鏡検査件数 | 78 | 114 |
| 経気管支肺生検件数 | 80 | 85 |
| EBUS-TBNA | 24 | 56 |
| 胸腔鏡検査など | 4 | 6 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 須藤（すどう） 悠太（ゆうた） | 部　長 | **専門分野：**肺癌、COPD、間質性肺炎、肺高血圧症<br>日本内科学会認定内科医<br>日本内科学会総合内科専門医・指導医<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医<br>ICD（インフェクションコントロールドクター）<br>緩和ケア研修終了<br>札幌医科大学医学部臨床講師 | 平成20年 |
| 佐藤（さとう） 亮（りょう） | 医　師 | 内科専門医、日本呼吸器学会、気管支内視鏡学会 | 平成28年 |
| 池田（いけだ） 健太（けんた） | 医　師 | 日本内科学会、日本呼吸器学会 | 令和2年 |

## 診療予定表

（初診：8：00～11：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 診察1 | 須 藤 | 池 田 | 佐 藤 | 須 藤 | 佐 藤 |
| 診察2（新患） | 出張医 | 佐 藤 | 須 藤 | 池 田 | 池 田 |

## 診療部長よりひとこと

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっています。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。

# 消化器内科 Gastroenterology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当院の消化器内科は現在11名の医師で診療に当たっており、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本肝臓学会認定指導施設として上下部消化管疾患・肝臓疾患・胆膵疾患など対象は消化器疾患全般に及んでおり、幅広い専門的医療を担当すると伴に、朝・夕の病棟回診も欠かさず施行し、円滑な医師・患者関係の確立とわかり易い病状説明に努めています。さらには外科・病理科・放射線科など関連する各科との密接な協力関係のもとで診療にあたっています。

## 対象疾患

食道の疾患：逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、食道裂孔ヘルニアなど
胃の疾患：胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、ヘリコバクター・ピロリ感染症、慢性胃炎、機能性ディスペプシア、胃癌など
大腸・小腸の疾患：大腸癌、腸閉塞、虫垂炎、食中毒、O-157、潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、虚血性腸炎、出血性大腸炎、大腸憩室症など
肝臓の疾患：脂肪肝、急性肝炎、B型慢性肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、肝癌、非アルコール性脂肪性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
膵臓の疾患：急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など
胆道系の疾患：胆のう結石症、胆のうポリープ、急性胆のう炎、慢性胆のう炎、胆のう癌、胆管癌、総胆管結石など

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| ふじい　つねし<br>藤井　常志 | 院長補佐<br>部　長 | **専門分野：**消化器疾患、胆・膵疾患<br>医学博士<br>日本内科学会認定医・指導医<br>日本消化器病学会専門医・指導医・評議員<br>日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員<br>日本超音波学会専門医・指導医<br>日本消化器がん検診学会認定医・指導医<br>旭川医科大学臨床指導教授<br>日本肝臓学会専門医<br>日本ヘリコバクター学会認定医<br>日本消化器がん検診学会総合認定医<br>日本内科学会総合内科専門医<br>日本膵臓学会指導医<br>日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 | 平成元年 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| あべ　まさみ<br>阿部　真美 | 部　長 | **専門分野：**内科、消化器病、肝臓病<br>内科学会認定医<br>消化器病学会専門医<br>肝臓学会専門医<br>総合内科専門医<br>内視鏡学会専門医・指導医 | 平成13年 |
| いしかわ　ちさと<br>石川　千里 | 部　長 | **専門分野：**消化器内科<br>認定内科医<br>医学博士<br>日本消化器病学会専門医<br>日本消化器内視鏡学会専門医・指導医<br>難病指定医<br>臨床研修指導医 | 平成14年 |
| ももい　たまき<br>桃井　環 | 医　師 | **専門分野：**消化器内科<br>日本内科学会総合内科専門医<br>日本消化器病学会消化器病専門医<br>日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医<br>日本膵臓学会認定指導医<br>日本医師会認定産業医 | 平成15年 |
| はせべ　たくむ<br>長谷部　拓夢 | 医　師 | **専門分野：**消化器内科、肝臓内科、漢方医学<br>医学博士<br>日本内科学会認定医<br>総合内科専門医<br>日本肝臓学会専門医、東部会支部評議員、指導医<br>日本消化器病学会専門医<br>日本消化器内視鏡学会専門医<br>日本東洋医学会漢方専門医 | 平成14年 |
| ふじばやし　しゅうご<br>藤林　周吾 | 医　師 | **専門分野：**消化器内科、胆・膵疾患<br>日本内科学会認定内科医<br>日本消化器病学会専門医<br>日本消化器内視鏡学会専門医<br>日本肝臓学会専門医<br>医学博士<br>難病指定医<br>臨床研修指導医 | 平成20年 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 齋藤（さいとう） 敦（あつし） | 医　師 | **専門分野：**消化器内科<br>日本内科学会認定内科医<br>日本消化器病学会専門医<br>日本消化器内視鏡学会専門医 | 平成24年 |
| 黒田（くろだ） 祥平（しょうへい） | 医　師 | **専門分野：**消化器内科 | 平成30年 |
| 石黒（いしぐろ） 達也（たつや） | 医　師 | **専門分野：**消化器内科 | 令和2年 |
| 武田（たけだ） 悠（ゆう） | 医　師 | **専門分野：**消化器内科 | 令和2年 |
| 長谷部（はせべ） 千登美（ちとみ） | 院長補佐<br>医　師 | **専門分野：**肝臓内科、消化器内科<br>医学博士<br>日本内科学会総合内科専門医・評議員<br>日本肝臓学会専門医・指導医・評議員選出委員会委員<br>日本肝臓学会東部会評議員<br>日本消化器病学会専門医・指導医・評議員・キャリア支援委員会委員・北海道支部女性医師の会委員長<br>日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員<br>旭川医科大学臨床指導教授<br>日本高齢消化器病学会理事<br>日本プライマリケア学会認定医・指導医 | 昭和55年 |

# 消化器内科 Gastroenterology

旭川赤十字病院

## 診療予定表

（初診：8：00～11：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新　患 | 藤 井 | 石 川 | 藤 井 | 齋 藤 | 桃 井 |
| 肝臓外来 | 阿 部 | 長谷部 | 阿 部 | 長谷部 | 長谷部（拓） |
| 再診1 | 藤 林 | 齋 藤 | 桃 井 | 藤 井 | 石 川 |
| 再診2 | | 藤 林 | 黒田<br>（PEG外来） | 黒田 | 藤 井 |

## 診療部長よりひとこと

断らない診療理念の基に消化器救急疾患に迅速に対応致します。お気軽にご相談ください。

# 循環器内科 Carodiovascular Medicine

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科は、メタボリックシンドロームに代表される慢性疾患から、急性心不全・急性冠症候群・致死性不整脈などの緊急を要する疾患群を主な守備範囲としています。メタボリックシンドロームなどは動脈硬化を惹起し、冠動脈硬化から急性心筋梗塞などの急性冠症候群を引き起こすとされています。

心臓自体を栄養する血管(冠動脈)は、糖尿病や高血圧症、高コレステロール血症などが原因で、血管壁にプラークが沈着・堆積することで動脈硬化を引き起こし、さらには石のように固くなる石灰化病変となり、狭小化し閉塞していきます。今までは、カテーテル治療において、病変部を風船で膨らませステントを留置する方法しかありませんでしたが、このように石のように固くなった石灰化病変は、柔らかい風船で拡張しようとしても十分に広げることが出来ず、ステントを留置してもきれいな仕上がりが得られないことがあります。

そこで当院では、治療困難な石灰化のある動脈硬化病変に対し、有効な治療法の手段として、ロータブレーターというラグビーボールのような形状のドリルの先端に、ダイヤモンドの粒子が塗布してあるこのドリルが高速回転することで、石のように固くなった石灰化病変を切削し、血管を広げ治療を行っております。

まだ導入間もないですが、今後症例数を増やし、患者さんにその恩恵を提供できればと考えております。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 飛澤（とびさわ） 利之（としゆき） | 部　長 | **専門分野：**虚血性心疾患、心不全<br>医学博士<br>日本内科学会認定内科医<br>日本内科学会総合内科専門医・指導医<br>日本循環器学会認定循環器専門医<br>日本心血管インターベンション治療学会認定医 | 平成20年 |
| 井垣（いがき） 勇祐（ゆうすけ） | 医　師 | **専門分野：**循環器一般<br>医学博士<br>日本内科学会認定内科医<br>日本腎臓学会腎臓専門医 | 平成24年 |
| 印鑰（いんやく） 雅史（まさふみ） | 医　師 | **専門分野：**循環器内科 | 平成25年 |
| 岸上（きしうえ） 直広（なおひろ） | 医　師 | **専門分野：**循環器内科<br>日本内科学会認定医<br>日本心血管インターベンション治療学会認定医 | 平成26年 |
| 川原田（かわはらた） 航（わたる） | 医　師 | | 平成30年 |
| 合田（あいだ） 大樹（ひろき） | 医　師 | **専門分野：**循環器内科・腎臓内科 | 平成31年 |

## 診療予定表

（初診：8：00～11：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 診察1 | 岸 上 | 岸 上 | 合 田 | 印 鑰 | 印 鑰 |
| 診察2 | 合 田 | 飛 澤 | 飛 澤 | 飛 澤 | 川原田 |
| 診察3 | 井 垣 | | 川原田 | 井 垣 | ＊ |
| 新　患 | 井 垣 | 岸 上 | 合 田 | 印 鑰 | 川原田 |

＊第２・４金曜日午後：ペースメーカー外来

## 診療部長よりひとこと

この度、令和4年4月1日より循環器内科部長を拝命いたしました、循環器内科の飛澤 利之と申します。
私はこれまで、札幌医科大学付属病院、札幌医科大学大学院、また、道内関連病院勤務を経て、令和元年に当院へ赴任させていただきました。
昨今の高齢化社会を反映し、心不全パンデミックと称されるように心不全をはじめとした循環器領域疾患患者数は年々増加の一途をたどっており、我々循環器内科医の守備範囲は日々広がっております。
このような中で、当科では心不全を中心とした様々な疾患に対する薬物療法、非薬物療法(カテーテルインターベンション等)に加え、心不全管理において重要な心臓リハビリテーションにも力を入れております。
このコロナ禍の影響で現状はなかなか進んでおりませんが、院内の設備・環境を徐々に整え、今後は入院のみならず外来リハビリテーションも充実させていく予定です。
また、当院は道北ドクターヘリ事業を運用する3次救急を担う高度救命救急センターを併設しております。よって、急性冠症候群に対するprimary PCIをはじめとした、循環器救急への対応も重要な責務と考えております。
まだまだ若輩者で経験も浅く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは存じますが、新しく生まれ変わった新生循環器内科として、これまで以上に皆様に信頼されるよう頑張りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

# 腎臓内科 Nephrology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科では腎疾患の早期診断に積極的に取り組み、早期腎炎から慢性腎臓病、末期腎不全・透析管理に至るまでの総合的治療・管理を行っています。
また当院は高度救命センターを有する急性期病院でもあることから、急性血液浄化療法を必要とする患者様に対しても、院内各科と連携をとりながら集学的治療を行っています。

## 診療内容

腎炎・ネフローゼ

腎炎・ネフローゼ症候群が疑われる患者様には積極的に腎生検を施行し、臨床所見と病理組織学的診断を合わせて治療方針を決定しています。必要があると判断された場合には、ステロイド剤や免疫抑制剤、血漿交換療法等による治療を行います。
また慢性腎炎の中でもっとも多いIgA腎症では、腎生検の結果をふまえ「扁桃腺摘出術とステロイド療法」を施行し、血尿・蛋白尿の減少や消失というような良好な治療成績をおさめています。

慢性腎臓病（CKD）

慢性腎臓病の診療は主に進行の抑制に重点を置いており、薬物療法・食事療法に積極的に取り組んでいます。さらに腎臓病に合併する心血管疾患の予防や治療を行っています。
慢性腎臓病を初めて指摘された方や自宅での管理に不安をお持ちの患者様には、教育・治療のための入院を勧めています。 腎機能悪化を抑制し、生命予後を改善する効果のある薬も増えてきています。投薬管理と生活指導を組み合わせて腎機能が少しでも長く温存でき透析導入を抑制できるよう日々努力しています。

末期腎不全

治療を行っても残念ながら末期腎不全に近付いてきた患者様には、腎代替療法が必要となります。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植があり、当院では血液透析と腹膜透析を実施しています。患者様のご希望やQOLを十分に考慮したうえで治療法を選択していただき、準備から導入までを行っています。

## 透析センター

当院透析センターは慢性腎不全の患者様の血液透析療法、腹膜透析療法を中心に、神経疾患や自己免疫疾患等のために血漿交換療法や免疫吸着療法等あらゆる血液浄化を必要とする患者様に対して治療を行っております。
現在月水金、火木土いずれも午前(9:00～14:00)、午後(14:00～19:00)の2クールで行っております。
また当院は当地区のセンター病院の1つであることから、24時間いつでも緊急時の血液浄化に対応できるように体制を整えております。

# 腎臓内科 Nephrology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| こばやし ひろのり<br>小林　広学 | 部　長 | **専門分野：**透析患者に対する循環器合併症管理・治療、バスキュラーアクセス（シャント）不全に対するバルーン治療、心不全・電解質・貧血管理、腹膜透析管理、腹膜透析カテーテルトラブルに対する管理・治療<br>医学博士<br>日本内科学会総合内科専門医、指導医<br>日本循環器学会専門医<br>日本医師会認定産業医<br>日本透析医学会専門医・指導医<br>日本腎臓学会腎臓専門医、指導医<br>旭川医科大学臨床指導教授 | 平成11年 |
| みやもり だいすけ<br>宮森　大輔 | 医　師 | **専門分野：**<br>腎臓内科認定医<br>腎臓内科専門医 | 平成27年 |
| まつだ まさひろ<br>松田　正大 | 医　師 | **専門分野：**腎臓内科 | 平成29年 |
| おさむら あゆむ<br>長村　一歩 | 医　師 | | 平成31年 |

## 腎臓内科　診療時間　（初診：8：00～11：00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 宮 森 | 小 林 | 長 村 | 小 林 | 松　田 |

## 透析室

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前：PD外来 | | | 小 林 | | |
| 午後：HD外来 | 小 林 | 小 林 | 小 林 | 小林／宮森 | |

## 診療部長よりひとこと

広い道北地域においても腎臓内科を標榜している施設は少ないのが現状です。専門的治療知識のアップデートを日々努力し、地域連携施設と良好な関係を築きながらレベルの高い腎臓病医療を地域住民の皆様に提供できますよう、頑張っていきたいと思います。

# 脳神経外科 Neurosurgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

脳神経外科は脳、神経及び関連する血管などの付属機関を含めた神経疾患の中で主に外科治療の対象となりうるものを扱う診療科です。当院では特に脳血管障害、脳腫瘍、脳神経障害（顔面けいれん、三叉神経）を中心に診療しています。

### 1）24時間365日の救急医療

当院は救命救急センターおよびドクターヘリ基地を有し、24時間365日救急対応を行っています。脳神経外科医も常時院内に待機しています。320列高速CT、1.5テスラMRI、3D-DSA、脳血流SPECTなどの画像診断装置も24時間稼働しており、脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、頭部外傷など一刻一秒を争う病態にも迅速に対応しています。また、脳卒中ホットラインや、電子カルテ情報共有のinet、画像参照システムのJoinを活用し、旭川市内病院やクリニック及び、富良野協会病院、留萌市立病院といった周辺地域の基幹病院とも高度な連携を行っており、ご紹介いただいた脳疾患患者さんの診断、治療を当院で行った後、地域の病院でのリハビリテーション及びフォローアップといったシームレスな医療を提供しています。

### 2）高度な専門治療

当院では開頭手術、脳血管内手術ともに高い技術を有しており、脳動脈瘤に対するクリッピング、コイル塞栓術、脳動脈閉塞に対する脳血管バイパス術、血栓回収療法、内頚動脈狭窄に対する内頚動脈内膜剥離術、頸動脈ステント留置術、顔面けいれん、三叉神経痛に対する神経血管減圧術のほか、大型脳動脈瘤に対するバイパス併用クリッピングやフローダイバーターの留置といった高度の治療も可能です。また難易度の高い頭蓋底腫瘍に対する治療も積極的に行っています。

### 3）主な対象疾患

脳動脈瘤　脳梗塞　脳腫瘍　顔面けいれん、三叉神経痛

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 牧野（まきの）　憲一（けんいち） | 院　長 | **専門分野：**脳循環代謝、脳核医学、脳卒中治療、医療マネジメント<br>日本脳神経外科学会専門医<br>日本脳卒中学会専門医<br>日本救急医学会専門医<br>医学博士<br>日本医師会認定産業医<br>病院総合医 | 昭和54年 |

# 脳神経外科 Neurosurgery

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 瀧澤（たきざわ） 克己（かつみ） | 副院長<br>部　長<br>医療安全<br>推進室室長 | **専門分野：**脳血管障害手術（脳動脈瘤手術・バイパス手術<br>内膜剥離術）、頭蓋底腫瘍、医療安全<br>日本脳神経外科学会専門医・国際小委員会委員<br>日本脳卒中学会認定医・指導医・評議員<br>旭川医科大学臨床指導教授<br>藤田医科大学ばんたね病院　客員教授<br>日本脳神経外科救急学会評議員<br>日本意識障害学会評議員 | 平成2年 |
| 和田（わだ） 始（はじめ） | 部　長 | **専門分野：**脳卒中、脳血管内治療<br>日本脳神経外科学会指導医・専門医<br>日本脳卒中学会指導医・専門医<br>日本脳血管内治療学会指導医・専門医<br>博士（医学）乙第456号 | 平成3年 |
| 櫻井（さくらい） 寿郎（じゅろう） | 部　長 | **専門分野：** 脳外科一般、脳血管内治療<br>日本脳神経外科学会専門医<br>日本脳神経血管内治療学会専門医 | 平成5年 |
| 竹林（たけばやし） 誠治（せいじ） | 部　長 | **専門分野：**脳神経外科一般、脳卒中外科<br>日本脳神経外科学会専門医<br>日本脳卒中の外科学会技術指導医<br>医学博士 | 平成5年 |
| 小林（こばやし） 徹（とおる） | 副部長 | **専門分野：**脳神経外科、脳卒中外科<br>日本脳神経外科学会認定専門医<br>日本脳卒中学会認定指導医<br>医学博士<br>日本脳卒中の外科学会認定指導医 | 平成8年 |
| 小林（こばやし） 理奈（りな） | 医　師 | **専門分野**： 脳神経外科、脳卒中<br>医学博士<br>日本脳神経外科専門医<br>日本脳卒中学会認定専門医 | 平成9年 |
| 岩間（いわま） 淳哉（じゅんや） | 医　師 | **専門分野**： 脳神経外科、脳血管障害<br>脳神経外科専門医<br>脳卒中学会専門医<br>脳卒中の外科学会技術認定医<br>脳血栓回収療法実施医<br>臨床研修指導医 | 平成21年 |

# 脳神経外科 Neurosurgery

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| おおなか けいすけ<br>大仲　佳祐 | 医　師 | **専門分野**： 脳血管障害、脳血管内治療<br>日本脳神経外科学会専門医<br>日本脳神経血管内治療学会専門医<br>日本脳卒中学会専門医 | 平成24年 |
| しんどう たかふみ<br>進藤　嵩史 | 医　師 | **専門分野：**脳神経外科（血管障害分野） | 平成27年 |
| くりはら せいじ<br>栗原　星治 | 医　師 | **専門分野：**脳卒中治療 | 平成30年 |

## 診療予定表

（初診：8：00～12：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第一診察室 | 進 藤 | 小林（理） | 櫻 井<br>（血管内治療外来） | 竹 林 | 小林（徹） |
| 第二診察室 | 新患外来 | 新患外来 | 新患外来 | 新患外来 | 新患外来 |
| 第三診察室 | | | 牧 野 | | 和 田<br>（血管内治療外来） |
| 第四診察室 | 瀧 澤 | 瀧 澤 | | 瀧 澤 | |

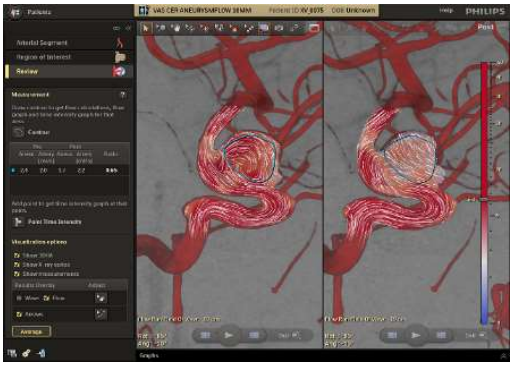
＊臨時手術などで担当医が変更になる場合がありますので、ご了承願います。
＊新患担当医は日替わりになっています。
＊新患で診療希望医がある場合は、希望医の外来日に受診して、受付で申し出てください。
＊紹介患者のない新患、予約外の再来も受付いたしますが、待ち時間が長くなる場合があること
　をご了承願います。

# 脳神経外科 Neurosurgery

旭川赤十字病院

## 診療部長よりひとこと

日頃より多くの患者のご紹介をいただき、感謝申し上げます。当科は昭和42年に開設されましたが、以降道北地方における脳疾患治療の拠点病院として機能しています。従来より開頭手術においては日本有数の症例数と治療成績を治めていて、全国的にも認知されておりますが、2020年度より血管内治療チームも充実したものとなり、あらゆる困難例に対応可能な体制が整っています。患者のみならず、ご紹介いただいた連携病院の先生にも満足いただける医療を提供できると自負しておりますので、動脈瘤等の血管障害のみならず、頭蓋底を含む脳腫瘍、三叉神経痛・顔面けいれんといった機能疾患まで、引き続きご紹介をいただけましたらと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



# 小児科 Pediatrics

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

旭川市の基幹病院として、小児の救急を含む地域医療を担うとともに、日本小児科学会専門医3名の常勤医により小児のアレルギー疾患、成長障害、思春期発来異常を含めた内分泌疾患、肥満、糖尿病、発達障害、心理疾患、てんかんに対する医療を提供しています。

## 対象疾患

**【食物アレルギー】**
診断と除去食解除のための食物経口負荷試験を1年あたり100例以上実施しています。食物アレルギーでお困りの方や「とりあえずやめておく」と指導されている患者様は、ご相談ください。

**【気管支喘息・長引く咳】**
呼気一酸化窒素（FeNO）の測定、呼吸機能検査（スパイロ）、 呼吸抵抗測定検査（モストグラフ）等による客観的な評価により、診断および治療効果の判定を行います。

**【低身長・成長障害】**
小児の成長障害や低身長の原因には多くの因子が関与しますが、その 一つとして内分泌疾患があります。様々なホルモンや成長因子の異常による内分泌疾患を診療対象としています。乳幼児健診、学校健診、かかりつけ医からの紹介等で受診される場合には、母子手帳、幼稚園・保育園や学校の成長記録をご持参ください。

**【思春期発来異常】【その他の内分泌疾患】【カルシウム・ビタミンD関連疾患】【肥満、糖尿病、生活習慣病】**

**【発達障害】**
小児神経科専門医が、発達の遅れ、自閉性スペクトラム障害、ADHD、学習障害などの発達の問題に対し、臨床心理士による各種発達知能検査を参考にしながら診断、治療を行っています。

**【心理疾患】**
登校しぶり、不登校など心理的な問題を抱えている子ども達に、子どものこころ相談医、子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医が臨床心理士とともに診療し、必要に応じて心理カウンセリングも実施しています。

**【てんかん】**
日本てんかん学会臨床専門医・指導医が、小児のけいれん性疾患やてんかんに対して、脳波や頭部画像検査などによる検査をもとに診断し、その子に適した治療法を提供しています。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| もりた　けいすけ<br>森田　圭佑 | 部　長 | **専門分野：**小児科一般、小児感染症、小児アレルギー<br>医学博士<br>日本小児科学会専門医・認定小児科指導医 | 平成元年 |
| むかい　とくお<br>向井　徳男 | 部　長 | **専門分野：**小児科一般、小児内分泌・代謝、成長障害<br>医学博士<br>日本小児科学会専門医・認定小児科指導医<br>日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医 | 平成2年 |

# 小児科 Pediatrics

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 諏訪（すわ）　清隆（きよたか） | 部　長 | **専門分野：**小児科一般、小児神経、小児てんかん、小児発達、小児心身症<br>医学博士<br>日本小児科学会専門医・認定小児科指導医<br>小児神経科専門医<br>日本てんかん学会臨床専門医・指導医<br>臨床遺伝専門医<br>日本小児精神神経学会認定医<br>子どもの心相談医、子どものこころ専門医<br>子どもとメディア認定インストラクター<br>地域総合小児医療認定医 | 平成3年 |

## 診療予定表

（受付：8:00～11:30　13:30～15:00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前（一般） | 森 田 | 諏 訪 | 諏 訪 | 向 井 | 森 田 |
| 午前（専門） | 内分泌<br>（向井）<br>心 臓<br>（出張医） | 喘息・<br>アレルギー<br>（森 田） | 喘息・<br>アレルギー<br>（森 田） | 発達・心理<br>（諏 訪） | 内分泌<br>（向 井） |
| 午後（一般） | 向 井 | 向 井 | 森 田 | 森 田 | 諏 訪 |
| 午後（専門） | 神 経<br>（諏訪）<br>心 臓<br>（出張医） | 喘息・<br>アレルギー<br>（森 田） | 発達・心理<br>（諏 訪） | 内分泌<br>（向 井） | 喘息・<br>アレルギー<br>（森 田） |

＊一般外来は予約不要ですが、各専門外来、予防接種、乳児検診は予約が必要です。
＊慢性疾患の患者様のご紹介は、連携室を通していただくか、電話で、予めご相談いただければ幸いです。
＊予防接種（一般外来担当医が診察）9:00～11:00　13:30～15:00（月曜日は午後のみ）
＊乳児検診　月曜日～金曜日　9:00～11:00　13:30～15:00

## 診療部長よりひとこと

新型コロナウイルスの出現により生活様式が一変して,RSウイルスやインフルエンザといった他の感染症はこれまで経験したことがないほど減少しています。そのような時代であっても病院小児科医のやるべきことは多々あります。何でもお気軽にご相談ください。地域医療を支えている先生には、信頼のおける十分な医療が提供できる様に頑張りますのでよろしくお願いいたします。

（2022年5月　森田記）

# 外科 Surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科は常勤医師６人で診療を担当しています。消化器疾患全般から乳腺疾患に対する外科治療を広く行っています。各関連学会指導医・専門医が複数名在籍しており、診療の質・手術の質の向上に努めています。

当科では低侵襲な腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術を積極的に導入しております。救命救急センターが設置されていることから緊急手術を必要とする疾患にも365日24時間体制で対応しています。

## 対象疾患

**胃癌：**2021年の胃癌切除症例は約40例でした。そのうち約8割の胃癌に対し低侵襲な腹腔鏡下手術で手術を行っています。また、可能な限り胃全摘は回避し、根治性は担保しつつ、機能温存を目的とした幽門側胃切除や噴門側胃切除を積極的に行っています。

**大腸癌：**2021年の大腸癌切除症例は約120例でした。現在、約7割の大腸癌に対し、最新鋭機であるダヴィンチXi（da Vinci Xi surgical system）によるロボット支援下手術を行っています。他の3割は腹腔鏡手術で行っています。直腸癌に対しては可能な限り肛門を温存する手術を積極的に採用しています。

**食道癌：**胸腔鏡・腹腔鏡下に手術を行います。胸部と腹部の両方の操作が必要な負担の大きい手術ですが、胸腔鏡・腹腔鏡下に行うことで痛みが少なく、呼吸機能が温存され、早期の社会復帰が可能です。

**鼠経ヘルニア：**腹腔鏡下手術で行います。痛みが少なく、早期退院が可能です。

**肝胆膵疾患：**胆石から高難度の膵頭十二指腸切除まで幅広く対応しています。

**乳癌：**化学療法から手術まで一貫して治療を行います。乳房温存手術を積極的に行っています。

**減量手術：**腹腔鏡下手術を行います。糖尿病や高脂血症、高血圧、睡眠時無呼吸症候群等の肥満関連疾患が改善します。減量サポート・外科治療センターを開設し、多職種が関わり、治療成績の向上を目指しています。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 真名瀬（まなせ）　博人（ひろと） | 副院長<br>部 長 | **専門分野 ：**消化器外科、一般外科、乳腺外科<br>精中委マンモグラフィ読影医<br>日本外科学会専門医<br>医学博士<br>日本消化器外科学会認定医<br>旭川医科大学臨床教授 | 平成元年 |

# 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| いちむら　たつのすけ<br>市村　龍之助 | 部　長 | **専門分野**：消化器外科、内視鏡外科、一般外科　特に胃、大腸癌手術、内視鏡手術、大腸癌化学療法、肛門痔疾患の診察・治療（内痔核に対する四段階硬化療法など）<br>医学博士<br>日本外科学会認定医、専門医、指導医<br>日本消化器外科学会専門医、指導医<br>日本がん治療認定医機構がん治療認定医<br>日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医<br>インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ）（日本外科感染症学会）<br>日本ＤＭＡＴ<br>北海道ＤＭＡＴ<br>精中委マンモグラフィ読影医<br>Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant | 平成7年 |
| にしがみ　こうへい<br>西上　耕平 | 副部長 | **専門分野**：消化器外科<br>日本外科学会専門医<br>日本がん治療認定医機構がん治療認定医<br>医学博士<br>消化器外科学会専門医<br>消化器外科学会消化器がん治療認定医 | 平成13年 |
| やまもと　かずゆき<br>山本　和幸<br>減量サポート・外科治療センター　副センター長 | 副部長 | **専門分野**：ロボット手術、減量手術、胃外科、大腸外科、内視鏡外科<br>医学博士<br>日本外科学会 外科専門医・指導医<br>がん治療認定医機構 がん治療認定医<br>日本消化器病学会 消化器病専門医<br>日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医<br>消化器がん外科治療認定医<br>日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科（胃）技術認定医<br>Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon | 平成17年 |

# 外科 Surgery

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 栗原（くわばら） 尚太（しょうた） | 医　師 | **専門分野：**消化器外科<br>医学博士（北海道大学）<br>日本外科学会外科専門医<br>消化器外科専門医<br>消化器がん外科治療認定医<br>緩和ケア研修会修了<br>ＴＮＴ研修会修了<br>Certificate of da Vinci System<br>Training As a First Assistant | 平成23年 |
| 青木（あおき） 佑磨（ゆうま） | 医　師 | **専門分野：**消化器外科<br>外科専門医<br>Certificate of da Vinci System<br>Training As a First Assistant<br>JATECコース修了<br>緩和ケア研修会修了 | 平成27年 |
| 出口（でぐち） 琢人（たくと） | 医　師 | **専門分野：**救急、集中治療、外科<br>救急科専門医 | 平成28年 |

## 診療予定表

（初診：8：00～11：00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般外来 | 栗 原<br>青 木 | 真名瀬<br>山 本 | 市 村<br>（肛門外来） | 西 上<br>出 口 | 真名瀬<br>福 永 |
| 専門外来 | | 山 本<br>（減量サポート<br>外科治療センター<br>内視鏡外科外来） | | | |

＊外来患者で手術目的の方は12:00以降の診察になります。
＊専門外来（減量サポート・外科治療センター・内視鏡外科外来は毎週火曜日14:00～16:00予約が必要です。

## 診療部長よりひとこと

当院はドクターヘリ運用施設、三次救急医療機関です。そのような施設の外科として、まず救急医療、緊急手術に対応すべく、医師一同、日々業務に励んでおります。

さらに、一般外科手術、悪性疾患に対する手術などについても、高度医療を積極的に導入しております。減量手術(道北で唯一の実施施設となります)の実施件数も、多くの医療機関からご紹介いただき、順調に増えております。最近では大腸癌に対するロボット支援下手術も積極的に行なっております。

院内では多種多様な医療スタッフと協力し、チーム医療で、治療中の患者さんご家族の不安を少しでも軽減できるような対応を心がけております。
各医療機関からのご紹介を通じて、地域の皆様が安心して暮らせるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、いつでもご相談・ご紹介ください。

減量サポート・外科治療センター

減量手術

ロボット支援下結腸癌手術

膵頭十二指腸切除術

# 整形外科 Orthopedit Surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

旭川赤十字病院は救命救急センターを併設しており、2次・３次救急を担うとともに道北ドクターヘリ基地病院としての役目もあり、旭川近郊のみならず道北一円から急性期の患者を受け入れております。当科でも救急要請は基本的に受け入れていますが、再接着を要する指切断、血管吻合を必要とする開放骨折は対応できないため、旭川医科大学や徳洲会病院にお願いしています。また四肢麻痺を伴う脊髄損傷も北海道中央病院脊損センターにお願いしています。

外来は平日の午前中のみで、紹介状のない新患の方は近くの医療機関を案内しています。専門外来は特にありません。骨軟部腫瘍は専門性が高く、症例集積のためにも大学にお願いしています。

毎日手術を行い、年間手術件数は800例前後です。約半数が臨時手術で、特に多いのが高齢者の大腿骨近位部骨折です。地域医療連携パスを用いており、可能な限り即日手術、翌日リハビリ開始として2週間前後で連携先に転院をお願いしています。

上下肢の外傷は、前述の特殊症例以外ほぼ全てに対応できます。多発・多臓器損傷であることもよくありますが当院では各専門科の協力体制により集中治療が出来ています。そのほかMSWや栄養課など様々な職種のサポートでより良い医療を目指しています。脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頚椎から腰椎まで治療しています。慢性疾患ではおもに膝の靭帯再建や人工関節手術を行っています。

## 対象疾患

＊上下肢の外傷多発・多臓器損傷脊椎疾患は外傷、変性疾患を問わず、頚椎から腰椎まで治療

＊療膝の靭帯再建や人工関節手術

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 髙橋（たかはし） 滋（しげる） | 部 長 | **専門分野：**股関節外科<br>日本整形外科学会スポーツ医<br>日本整形外科学会専門医 | 平成元年 |
| 田中（たなか） 雅仁（まさひと） | 副部長 | **専門分野：**整形外科、関節外科、四肢外傷<br>日本整形外科学会スポーツ医<br>日本整形外科学会専門医<br>JABO/OTC　Japan 世話人 | 平成12年 |
| 宮原（みやはら） 樹里（じゅり） | 医　師 | **専門分野：**整形外科 | 平成29年 |
| 藤澤（ふじさわ） 拓真（たくま） | 医　師 | **専門分野：**整形外科 | 平成30年 |
| 霍田（つるた） 直樹（なおき） | 医　師 | **専門分野：**整形外科 | 平成30年 |
| 加茂（かも） 裕樹（ゆうき） | 医　師 | 日本整形外科学会専門医（機構専門医）<br>日本脊椎脊髄病学会認定医<br>脊椎脊髄外科指導医 | 昭和57年 |

# 整形外科 Orthopedit Surgery

旭川赤十字病院

## 診療予定表 （初診：8：00～11：00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 髙 橋 | 宮 原 | 霍 田 | 髙 橋 | 霍 田 |
| 田 中 | 藤 澤 | 加 茂 | 藤 澤 | 田 中 |
| | 加 茂 | | 宮 原 | |

## 診療部長よりひとこと

# 形成外科　Plastic and Reconstructive Surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

形成外科とは身体の組織の異常や変形、欠損、整容的な不満足に対して、様々な手法や特殊技術を駆使し、機能と形態をより正常により美しくすることで “Quality of Life” を向上させる、外科専門領域です。

関連する対象疾患は皮膚軟部組織損傷、顔面骨骨折、皮膚軟部腫瘍（「できもの」）、母斑（「ほくろ」、「黒あざ」）、多合指症などの先天的疾患、褥瘡やその他皮膚潰瘍、熱傷（「やけど」）、および熱傷や外傷による瘢痕（「傷あと」）、腫瘍切除や外傷による変形に対する再建外科体表のほとんどすべての機能的・審美的障害を治療の対象としています。近年は眼瞼下垂、睫毛内反（「逆さまつげ」）など加齢性変化と障害の手術が増えてきています。

手術は全身麻酔に限らず、粉瘤をはじめとする各種小腫瘍の切除や軽度の外傷は局所麻酔下に行っています。さらに美容医療の発達と普及に準じて、シミ、あざの治療のため抗加齢用レーザーの導入や、大手化粧品会社と製薬会社で共同研究・開発されたドクターズコスメ（医療的化粧品）の取り扱いなども行っております。

## 対象疾患

| 手術・疾患分類 | 手術件数 |
|---|---|
| Ⅰ. 外傷　（熱傷・凍傷、化学損傷、電撃傷、顔面骨骨折、手・足の外傷など） | 147 件 |
| Ⅱ. 先天異常（手足の奇形、眼瞼の形態異常、耳・へそなど） | 16 件 |
| Ⅲ. 腫瘍（母斑、血管腫など皮膚・皮下組織を中心とした良性・悪性腫瘍、組織再建など） | 410 件 |
| Ⅳ. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 48 件 |
| Ⅴ. 難治性潰瘍　（褥瘡、壊疽、糖尿病性潰瘍、その他の皮膚欠損など） | 129 件 |
| Ⅵ. 炎症・変性疾患（蜂窩織炎、壊死性筋膜炎など） | 179 件 |
| Ⅶ. 美容 | 0 件 |
| Ⅷ. その他　（眼瞼下垂症、睫毛内反症・外反症など） | 106 件 |
| Extra レーザー治療（しみ、あざ、皮膚の隆起性病変） | 45 件 |
| 合　計 | 1080 件 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 丹代（たんだい）　功（いさお） | 部　長 | **専門分野：**顔面骨骨折・軟部組織損傷、新鮮外傷、熱傷、手足の先天奇形、その他の先天奇形、褥瘡、難治性潰瘍、皮膚・軟部腫瘍、悪性腫瘍と再建、眼周囲の形態異常（眼瞼下垂、内反、外反症など）瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド<br>**認定・専門医：**日本形成外科学会認定専門医<br>日本熱傷学会認定熱傷専門医・評議員<br>皮膚腫瘍外科指導専門医<br>日本創傷外科学会専門医<br>ICD（インフェクション コントロールドクター） | 平成9年 |

# 形成外科　Plastic and Reconstructive Surgery

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| いちはら　ともき<br>市原　寛大 | 医　師 | **専門分野：** 皮膚・軟部腫瘍、新鮮外傷、難治性潰瘍、眼周囲の形態異常（眼瞼下垂・内反など） | 平成30年 |
| たなか<br>田中　あかね | 医　師 | **専門分野：**形成外科の疾患全般 | 平成13年 |

## 診療予定表

初診（8：00～11：00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 丹 代 | 田 中 | 田 中 | 田 中 | 丹 代 |
| 市 原 | （市 原） | 市 原 | （市 原） | 市 原 |

＊年末年始を除く、毎週月曜～金曜日までの外来診療を行っております。
（受付：初診8：00～11：00、再診7：50～11：00）
再診は予約となりますが、初診の方でも予約無しで受診可能です。

## 診療部長よりひとこと

当院形成外科は平成元年に開設されました。現在常勤医師が在籍し、徳島大学形成外科の他に、令和3年に開設した旭川医科大学形成外科とも連携し医師派遣があります。

診療では旭川市内の他、道北地方一帯から患者様を御紹介いただき、症状に応じて様々な最先端の手術方法を取り入れ、体表ほとんど全ての機能的・審美的障害を治療の対象とし治療しています。加療後に回復された後は、可能な限り最後まで当科で経過を診させていただいております。

当院は道北ドクターヘリの拠点病院であり、救急救命センターも併設しており外傷患者の受け入れも多くあります。形成外科は傷や傷跡を治すプロフェッショナルであり、救急医療においては創傷治癒センター・創傷ケアセンターとしての役割が大きいと感じています。

学会関連では現在、日本形成外科学会認定施設、及び日本熱傷学会認定研修施設となっています。特に熱傷に関しては再生医療（培養表皮移植）実施施設でもあります。当科の医師は日本形成外科学会認定専門医、皮膚腫瘍外科分野指導医、日本創傷外科学会専門医、日本熱傷学会専門医などの資格が取得可能です。

その他近年、美容医療への関心が高まり、年齢や男女を問わずシミ・シワやアンチエイジングに悩んでいる方が少なくありません。私達は正しい医学情報を提供しつつ、ニーズに答えるためレーザーの導入やドクターズコスメ（医療的化粧品）の取り扱いを始めました。当科の保険外治療は比較的施術を受けやすい医療費を設定し、好評を得ております。

また当院は臨床研修病院でもあり、たくさんの研修医が形成外科研修中に創傷治療や縫合技術などを習得しています。研修中に少しでも形成外科に興味を持ってもらえるように、魅力的な診療科を目指しております。

# 心臓血管外科 Cardiovascular Surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科は成人の心・大血管・末梢血管・肺疾患と幅広く診療にあたっています。救命救急センターを標榜する病院の心臓血管外科であるため、急性大動脈解離、急性冠疾患、大動脈破裂、急性上肢・下肢動脈閉塞などは緊急で手術にあたっています。心・大血管は安心・安全に重きを置いて全力で取り組んでいます。大動脈瘤に関しては、ステントグラフトを導入し10年以上経ちましたが、高齢患者さんの満足度も高く、高齢であっても受けていただきたいと思っています。末梢血管はこれまで通りバイパス手術も継続しますが、デバイスの進歩が著しいカテーテル治療に力を注ぎ、低侵襲化を進めていきます。静脈瘤は硬化療法や静脈瘤焼灼術を導入し、安全確実な治療を心がけています。静脈血栓症は認知度が上がり、紹介患者数も多くなりましたが、ワーファリンに取って代わるDOACにより外来診療で対応できることが多くなりました。

## 対象疾患

**成人性疾患：**肺血性疾患（狭心症、心筋梗塞）、弁膜症（大動脈弁、僧房弁）、肺動脈血栓症

**成人大血管：**急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤

**抹 消 血 管：**抹消動脈疾患、静脈瘤などの静脈疾患、静脈血栓症

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| うえやま　けいし<br>上山　圭史 | 院長補佐<br>部　長 | **専門分野：**成人心臓血管外科一般、下肢静脈瘤、胸部交感神経遮断術 等<br>日本胸部外科学会認定医<br>日本循環器学会認定循環器専門医<br>日本心臓血管外科学会修練指導医<br>日本外科学会専門医<br>日本脈管学会認定脈管専門医<br>日本心臓血管外科専門医 | 昭和62年 |
| こやま　もとひろ<br>小山　基弘 | 副部長 | **専門分野：**成人　心臓・大血管・抹消血管<br>日本外科学会専門医<br>日本心臓血管外科専門医<br>腹部ステントグラフト指導医<br>胸部ステントグラフト指導医 | 平成8年 |
| いとう　かえ<br>伊藤　佳永 | 医　師 | | 平成25年 |

# 心臓血管外科 Cardiovascular Surgery

旭川赤十字病院

## 診療時間

（初診8：00～11：30）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 手術のため<br>休診 | 小 山 | 上 山 | 手術のため<br>休診 | 上 山 |

## 診療部長よりひとこと

心臓の手術というと一般の方は危険性が高く、手術時間も長く、後遺症が残ることも多い手術を想像されると思います。しかし現在は手術成績も良くなり、予定手術では死亡率も1%を切るようになってきました。また当院では胸部、腹部大動脈瘤のステントグラフトや、下肢静脈瘤に対する焼灼術、下肢閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療等、低侵襲な治療も取り入れ低侵襲な治療にも取り組んでいます。

# 呼吸器外科 Respiratory surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

呼吸器外科の受け持ち範囲は肺癌、気胸などの肺疾患の他、縦郭、胸膜、胸壁、横隔膜、胸管、胸部神経など、胸部にある心臓と食道以外の外科的疾患全てです。常に呼吸器内科と連携をとって治療方針を決定し、検査から手術、抗癌剤など術後の治療へと円滑な治療が可能となっています。手術は低侵襲な（体への負担が少ない）胸腔鏡手術を中心に行っており、手術全体の9割が胸腔鏡で可能です。2022年3月からは最新の手術ロボットである、「ダビンチXiサージカルシステム」を用いた「ロボット支援下胸腔鏡手術」を開始し、更に精密で侵襲（体の負担が少ない）手術が行えるようになりました。また、生検といって病気の診断のため肺や胸腔内の組織をとる必要がある場合があり、そのような検査のための胸腔鏡手術（審査胸腔鏡）も積極的に行っています。一方で進行癌に対する根治手術は開胸して気管支、血管、胸壁などを合併切除する必要があり、大学や心臓血管外科とも協力して行っています。当院は救命救急センターを有する救急指定病院であり、交通事故などで多発外傷を負った患者さんも多く運ばれてきます。呼吸器外科ではこの様な患者さんの治療も、外科、救急科を始めとした各診療科を始めとした各診療科と協力しながら行っています。

## 主な対象疾患

肺癌、肺腫瘍　気胸、血胸　膿胸、肺膿腫　助骨・胸骨骨折、肺挫傷など胸部外傷

縦郭腫瘍　胸腺腫・重症筋無力症　胸膜、胸壁、横隔膜疾患　胸管、神経疾患

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 福永（ふくなが）　亮朗（あきら） | 部　長 | **専門分野：**呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、一般外科<br>日本外科学会認定医、専門医、指導医<br>日本呼吸器外科学会専門医<br>日本消化器外科学会専門医、指導医<br>精中委マンモグラフィ読影医<br>医学博士<br>消化器がん外科治療認定医<br>胸腔鏡安全技術認定医 | 平成８年 |
| 幾島（いくしま）　拓也（たくや） | 医　師 | **専門分野：**呼吸器外科 | 平成29年 |

## 診療予定表

（午前　8：00～11：30　午後～15：30）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 午　前 | 手 術 | 手 術 | | 福 永 | 福 永 |
| 午　後 | 手 術 | 手 術 | | 幾 島 | |

# 呼吸器外科 Respiratory surgery

旭川赤十字病院

## 診療部長よりひとこと

2019年4月より赴任し、年100件程度の呼吸器外科手術を行ってまいりました。このうちの約半数は肺癌です。肺癌は癌の中でも進行が早く悪性度が高いとされていますが、一方で早期発見し手術を含めた根治治療ができると、高い確率で治療が見込める事も知られています。最近肺抹消の小結節で、気管支鏡等による確定診断が困難な肺癌疑い病変に対し、診断的治療として胸腔鏡下術を行う例が増えています。術前の画像で肺癌と判断したうちの9割以上が早期肺癌です。当院では侵襲の少ない胸腔鏡手術、肺切除量の少ない区域切除を積極的に行い良好な成績を得ていますが、2022年3月よりロボット支援下肺悪性手術ができるようになり、更に精密で侵襲の少ない手術が可能となっています。小さな病変でも肺癌の可能性がございますので、ちょっとした異常陰影であってもいつでもご紹介ください。
また、従来外科と協力して診療を行ってまいりましたが、2022年4月より呼吸器外科専任医が増員となり、更に診療体制が充実しました。気胸、膿胸、胸部外傷といった救急疾患・外傷も24時間体制で受け入れておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ダビンチXiサージカルシステム

VATSの手術風景：5mmの細かいカメラを胸腔内に入れ、大きく映したモニターをみながら手術を行います。

外科・呼吸器外科スタッフ
前列右から二人目福永、後列右から一人目幾島Dr.

# 泌尿器科 Urology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要と対象疾患

当科は2020年4月から4人体制で診療を行っています。泌尿器科で扱っている疾患は、泌尿器癌、尿路結石、尿路感染症、前立腺肥大症や過活動膀胱といった排尿障害などです。

・泌尿器癌には膀胱癌、前立腺癌、腎盂・尿管癌、腎癌、精巣腫瘍、陰茎癌などがあり、それぞれの疾患について診断から治療まで、各種ガイドラインに基づいた標準的治療を行うことを心がけています。当科には泌尿器腹腔鏡技術認定医が在籍しており、前立腺癌、腎癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌、副腎腫瘍に対して腹腔鏡手術を行っています。また、膀胱癌に対して尿路変更を行った方には、皮膚・排泄ケア認定看護師と協力してストーマケアをサポートしています。

・2022年4月から、前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を開始しました。今後腎癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術、膀胱癌に対するロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術を開始する予定です。

・転移がある腎癌、膀胱癌、腎盂・尿管癌に対しては、抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による治療を行っています。

・進行した前立腺癌に対しては、新しいホルモン治療薬や抗癌剤による治療を行なっています。

・尿路結石に対しては、レーザーと軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的手術や、経皮的手術と経尿道的手術を同時に行う手術で、最終的に結石をゼロにすることを目標に治療しています。

・尿路感染症は、外来で治療する膀胱炎や入院治療の必要な急性腎盂腎炎、急性前立腺炎などに対して、血液培養や尿培養による起因菌の同定と適切な抗菌薬使用を心がけています。

・排尿障害に対しては、膀胱機能検査や排尿機能検査、前立腺エコーなどを行って、患者さんの病態に適した治療を選択しています。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 堀田（ほった） 裕（ひろし） | 院長補佐<br>部　長<br>感染症科<br>部長 | **専門分野：**泌尿器感染症、泌尿器癌<br>医学博士<br>日本泌尿器科学会認定専門医・指導医<br>インフェクションコントロールドクター（ＩＣＤ）<br>日本化学療法学会認定抗菌化学療法認定医<br>日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医<br>日本感染症学会認定感染症指導医<br>日本泌尿器内視鏡学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医<br>日本内視鏡外科学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医 | 平成3年 |

# 泌尿器科 Urology

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| みやもと　しんたろう<br>宮本　慎太郎 | 部　長 | **専門分野：**泌尿器科全般・腹腔鏡手術<br>日本泌尿器科学会専門医・指導医<br>日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医<br>日本泌尿器内視鏡学会認定泌尿器腹腔鏡技術認定医<br>日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 | 平成15年 |
| たばた　ひでとし<br>田畑　秀敏 | 副部長 | **専門分野**：泌尿器癌、腹腔鏡手術<br>日本泌尿器科学会専門医・指導医<br>日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医<br>日本がん治療認定医機構がん治療認定医<br>泌尿器ロボット支援手術プロクター(膀胱・前立腺) | 平成19年 |
| やまな　あずさ<br>山名　杏沙 | 医　師 | **専門分野：**泌尿器科 | 平成30年 |

## 診療予定表

（午前8：00～11：00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 堀 田 | 宮 本 | 堀 田 | 宮 本 | 田 端 |

## 診療部長よりひとこと

ダヴィンチが導入され、遅ればせながらほぼ全ての泌尿器癌に対する標準的手術が可能となりました。今まで他院に紹介していた手術が自院で行えることは、患者さんのためにも大変喜ばしいことと思っております。今後も地域のニーズに的確に、そしてできるだけ素早く応えられるよう努力して参りたいと考えておりますのでどうかよろしくお願いいたします。

# 産婦人科 Obstrtrics and Gynecology

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| たまて　けんいち<br>玉手　健一 | 医　師 | **専門分野：**不妊症、婦人科悪性腫瘍手術、化学療法、婦人科内視鏡手術、産婦人科内分泌医療、産科全般<br>日本産科婦人科学会認定医<br>日本母体保護法指定医<br>医学博士<br>ベストドクターズ | 昭和58年 |
| よしだ　としあき<br>吉田　俊明 | 医　師 | **専門分野：**産婦人科<br>日本産科婦人科学会専門医<br>日本母体保護法指定医 | 昭和60年 |

## POP外来（骨盤臓器脱）

毎週 月・水・金曜日　14:00～16:00（自由診療・完全予約制）
・予約に関しては上記以外でも相談に応じます
・一般外来受診日には混合診療となるので受けられません

## 診療予定表

（午前8:00～11:00　月～木曜日13:30～15:00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科① | 玉 手 | 玉 手 | 玉 手 | 玉 手 | 玉 手 |
| 婦人科② | 吉田/出張医 | 吉 田 | 吉 田 | 吉 田 | |
| POP外来（午後） | 担当医 | | 担当医 | | 担当医 |

## 産後サポート

| | |
|---|---|
| 母乳外来（要予約） | 平日　14時～16時<br>料金　１回　2,200円（税込み）<br>乳房マッサージ、授乳相談など |
| 産婦健診（要予約） | 料金　3,000円（助成券利用：無料）<br>〇２週間健診　　〇産後一か月健診（医師診察あり） |
| 電話相談（無料） | 平日　13時30分～16時<br>対象：産後１年まで<br>料金：初回（１時間）2,500円<br>２回目から（30分）1,500円　以降30分ごとに1,000円 |

## 産後ケア（日帰り型）ご希望の方へ（旭川市産後ケア事業）

対象となる方：旭川市に住民票のある産後1年未満の母子（医療の介入が必要な場合は不可）
ケア内容：お母さんの体力回復支援　授乳相談　育児相談等

# 眼科 Ophthalmology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科では眼科全般の診療を行っていますが、その中心は白内障・網膜硝子体・緑内障・外眼手術などの手術で、手術の多くを入院診療で行っています。白内障手術は難症例を中心に行っています。水晶体脱臼、眼内レンズ脱臼に対する眼内レンズの強膜内固定も行っています。網膜硝子体専門医によるこの分野の高度な診断・治療を行っており、道北地方において網膜硝子体手術を行う中心的眼科施設のひとつとなっています。加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症などに対する抗VEGF薬硝子体注射治療は外来診療で行っています。当院の特徴は地域医療支援（急性期医療担当）と救命救急医療ですので、頭部・顔面外傷などの救命救急医療における眼科診療も重点のひとつです。眼科的救急疾患や全身疾患に関連する眼科診療にも即自対応しています。脳神経内科、脳神経外科、放射線科の協力のもと、神経眼科疾患の診療も行っています。治療法のない視力障害者の方の残存視機能を有効利用するロービジョンケアとして、その推進事業であるスマートサイト（北海道版）に参加し、ロービジョン外来も行っています。なお、光線力学的治療、角膜移植手術・屈折矯正手術、多焦点眼内レンズ手術、コンタクトレンズの処方は行っていません。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| おおた　いさお<br>太田　勳男 | 部　長 | **専門分野：**白内障手術<br>医学博士<br>日本眼科学会専門医<br>眼科PDT認定医<br>神経眼科上級相談医 | 昭和60年 |
| かごかわ　ひろゆき<br>籠川　治幸 | 院長補佐<br>部　長 | **専門分野：**硝子体手術、加齢黄斑変性、白内障手術、糖尿病網膜症、網膜・黄斑疾患<br>医学博士<br>日本眼科学会専門医<br>眼科PDT認定医<br>日本眼科学会指導医 | 平成5年 |
| かたおか　のぶや<br>片岡　信也 | 副部長 | **専門分野：**糖尿病網膜症の診断・治療、白内障手術、眼窩脂肪ヘルニア手術<br>日本眼科学会専門医 | 平成7年 |

## 診療予定表

（初診：午前8:00～11:00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 太 田 | 太 田 | ☆籠 川 | 太 田 | 籠 川 |
| 片岡/出張医 | 片 岡 | | 片 岡 | 片 岡 |

☆地域連携予約初診及び予約患者

## 診療部長よりひとこと

道北地方の眼科拠点のひとつとして、その使命を果たすよう努力してまいります。何卒ご協力をお願い申し上げます。

# 耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

・難治性の鼻中隔彎曲症に対する外鼻形成術を行っています。
・経鼻内視鏡を利用した頭蓋底手術を行っています。
・内視鏡下耳科手術を行っています。
・甲状腺内視鏡手術を行っています。
・突発性難聴に対する音楽療法を行っております。
・めまいに対する集団リハビリ治療を行なっています。
・顔面神経麻痺に対する急性期リハビリを行っています。
・顔面神経麻痺後遺症に対する、ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法を行っています。

## 主な対象疾患

**A. 耳・めまいの治療**

1.内視鏡下耳科手術（TEES）
2.自己血清点耳液による鼓膜穿孔閉鎖法
3.突発性難聴に対する音楽療法
4.めまいに対する外来リハビリ治療（慢性難治性めまい患者に対する外来集団リハビリ）

**B. 鼻の治療**

1.内視鏡下副鼻腔手術（ESS）
2.鼻閉改善手術・アレルギー手術
3.鼻手術に伴う術後の苦痛回避の工夫
4.脳神経外科と協力した経鼻内視鏡下頭蓋底手術

**C. 頭頸部腫瘍**

1.甲状腺腫瘍穿刺吸引細胞診
2.甲状腺悪性腫瘍手術
3.Facelift切開による耳下腺手術

**D. 顔面神経麻痺**

1.耳小骨連鎖を保存する顔面神経減荷術
2.顔面神経麻痺に対するリハビリテーション
3.ボツリヌス毒素・ミラーバイオフィードバック併用療法

## 主な対象疾患

**E. 顔面外傷**

1.吸収型プレートによる顔面骨整復術

2.内視鏡による眼窩吹き抜け骨折整復術

## 診療実績（2021年度）

| | 2021年度 |
|---|---|
| 手術 | 例数 |
| 耳 | |
| 鼓室形成手術 | 14 |
| 鼓膜形成手術 | 8 |
| 顔面神経減荷手術 | 1 |
| その他耳科手術 | 15 |
| 鼻 | |
| 鼻内内視鏡手術 | 107 |
| 鼻副鼻腔腫瘍手術 | 6 |
| その他鼻科手術 | 0 |
| 咽喉頭 | |
| 両口蓋扁桃手術（摘出） | 30 |
| アデノイド切除 | 7 |
| 声帯結節（ポリープ）切除術 | 5 |
| 喉頭腫瘍切除術 | 5 |
| その他咽喉頭手術 | 2 |
| 頭頸部 | |
| 甲状腺悪性腫瘍手術 | 22 |
| 甲状腺良性腫瘍手術 | 17 |
| バセドウ甲状腺全摘 | 0 |
| 副甲状腺（上皮小体）手術 | 5 |

# 耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology

旭川赤十字病院

## 診療実績（2021年度）

| | 2021年度 |
|---|---|
| 手術 | 例数 |
| 耳下腺腫瘍手術 | 7 |
| その他頭頸部手術 | 7 |
| 外傷 | |
| 眼窩吹き抜け骨折手術 | 8 |
| 顔面多発骨折手術 | 1 |
| その他手術 | 7 |
| 計 | 322 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| ふじた たけとし<br>藤田　豪紀 | 部　長 | **専門分野**：中耳の手術（内視鏡下耳科手術）、鼻の手術（内視鏡下副鼻腔手術）、甲状腺手術<br>日本耳鼻咽喉科学会専門医 | 昭和61年 |
| ながみね まさよし<br>長峯　正泰 | 部　長 | **専門分野**：難聴・めまい、顔面神経麻痺治療<br>医学博士（旭川医科大学2000年）<br>日本耳鼻咽喉科学会専門医<br>日本めまい平衡医学会認定めまい相談医<br>補聴器相談医 | 平成8年 |
| たかばやし こうすけ<br>高林　宏輔 | 副部長 | **専門分野**：眼窩ふきぬけ骨折手術、内視鏡下鼻科手術、内視鏡下拡大副鼻腔手術、内視鏡下下垂体手術、顔面外傷手術、甲状腺内視鏡手術<br>日本耳鼻咽喉科学会専門医<br>補聴器相談医<br>耳鼻咽喉科専門研修指導医 | 平成17年 |

## 診療予定表

（初診　午前8:00～11:00）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初 診 | 長 峯 | 藤 田 | 休 診 | 高 林 | 長 峯 |
| 再 診 | 高 林 | 長 峯 | | 藤 田 | 高 林 |

# 歯科口腔外科　Dentistry and Oral and Maxillofacial Surgery

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科は地元歯科医師会との役割分担を明確にし、基本的には一般歯科治療(むし歯や歯周病の治療、義歯の作製など)は治療が必要である入院患者のみとし、歯科ならび医科の診療所などからの紹介患者を中心に診療し、病診連携を強め、地域の歯科医療機関との共存共栄を目指しています。

診療内容は親知らずの抜歯をはじめ、顎変形症、顎顔面外傷、口腔の良性・悪性腫瘍、嚢胞、感染症、唾液腺疾患、顎関節疾患などの口腔外科的疾患を幅広く行っています。

2012年度からチーム医療の推進の一環として周術期の口腔機能管理が導入されました。当院でもSCU入室患者の口腔ケア、脳神経外科、外科、心臓血管外科の手術前の口腔ケア、化学療法を行っている患者の口腔ケアを行っております。

## 対象疾患

口腔腫瘍　顎変形症　顎顔面外傷　口腔粘膜疾患　埋伏智歯　インプラント　など

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 岡田（おかだ）　益彦（ますひこ） | 部　長 | **専門分野：**口腔外科全般<br>日本口腔外科学会専門医・指導医<br>日本口腔科学会認定医・指導医<br>臨床研修指導歯科医<br>日本口腔ケア学会3級認定<br>日本がん治療認定医機構がん治療認定医 | 平成14年 |
| 庭瀬（にわせ）　俊（しゅん） | 医　師 | **専門分野：**歯科口腔外科 | 平成31年 |
| 飯田（いいだ）　理人（りひと） | 医　師 | **専門分野：**歯科口腔外科 | 令和3年 |

## 診療予定表　（初診　8:00～11:00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 岡 田 | 岡 田 | 岡 田 | 岡 田 | 岡 田 |
| 庭 瀬 | 庭 瀬 | 庭 瀬 | 庭 瀬 | 庭 瀬 |
| 飯田 | 飯田 | 飯田 | 飯田 | 飯田 |

# 歯科口腔外科　Dentistry and Oral and Maxillofacial Surgery

旭川赤十字病院

## 診療部長よりひとこと

歯科口腔外科の部長の岡田益彦です。
私は旭川赤十字病院には3度目の赴任で、今回は2013年4月より勤務し、私が働き始めてトータルで一番在籍期間が長い病院になりました。
初代部長の池畑先生、前部長の嶋津先生は口腔外科のオールラウンダーで、偉大な先生方でした。私にとって口腔外科の「いろは」を教わった先生方で、大きな目標です。
偉大な先生方の後を継ぎ、私はまだまだ未熟ものですが、当科を今までと変わらず、またさらに発展できるように今後も努力していきたいと思います。
連携医療機関の皆様にはいつも大変お世話になっており、感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。

写真　口腔外科医師

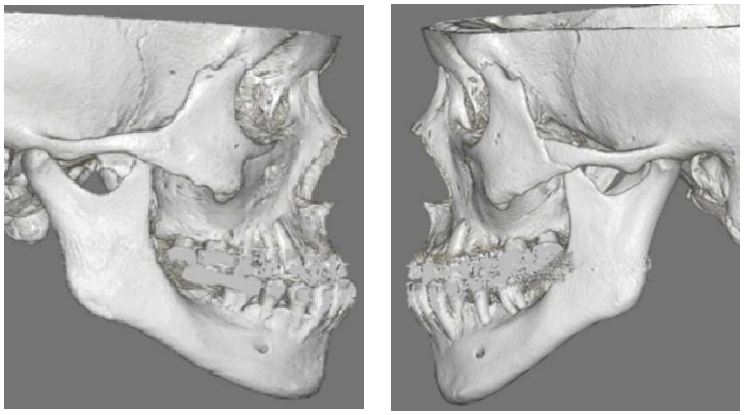
## 診療実績（2021年度）

| | |
|---|---|
| 外来初診患者数 | 2,403 人 |
| 年間新入院患者数 | 311 人 |
| 外来手術件数 | 1,296 件 |
| 入院手術件数 | 268 件 |

## 主な手術実績（2021年度）

| | |
|---|---|
| 悪性腫瘍手術 | 12 件 |
| 再建 | 4 件 |
| 上顎骨形成術 | 7 件 |
| 下顎骨形成術 | 20 件 |
| 下顎骨骨折観血的手術 | 4 件 |
| 顎骨腫瘍摘出術 | 25 件 |

写真　下顎前突症



術前

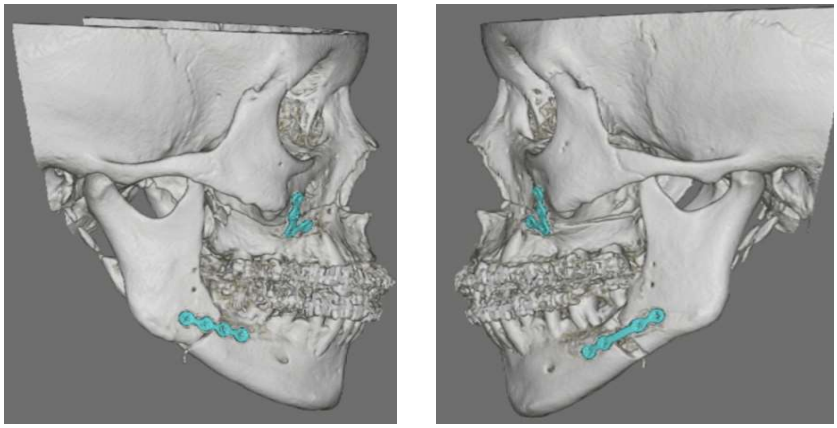


写真　上下顎骨形成術後

写真　進行した舌がん

舌の約1/2を切除

前腕皮弁で舌を再建

# 脳神経内科 Neurology

旭川赤十字病院

## 対象疾患

**1．脳の病気**

脳血管障害、髄膜炎、脳炎、パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、神経ベーチェット病、ハンチントン舞踏病、頭痛、認知症、てんかん、不随意運動（振戦など）、脳腫瘍、脳膿瘍、慢性硬膜下血腫、脳性麻痺、正常圧水頭症、脳脊髄液減少症

**2．脊髄の病気**

（視神経）脊髄炎、頚部脊髄症、頚部脊椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症、脊髄空洞症、筋萎縮性側索硬化症、スモン、家族性痙性対麻痺、HAM、亜急性連合性脊髄変性症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害

**3．末梢神経の病気**

多発神経炎、単神経炎、多発性単神経炎、絞扼性末梢神経障害、顔面神経麻痺、三叉神経痛、肋間神経痛、坐骨神経痛、ギラン・バレー症候群、CIDP、ライム病、顔面攣縮、中毒性ニューロパチー（砒素、薬物）、代謝性ニューロパチー（糖尿病、尿毒症栄養障害ニューロパチー（アルコール、脚気、ペラグラ）、癌性ニューロパチー、シャルコー・マリー・トウース病

**4．筋肉の病気**

筋ジストロフィー、多発筋炎、免疫介在性壊死性ミオパチー、封入体筋炎、重症筋無力症、ミトコンドリアミオパチー、遠位型ミオパチー、代謝性ミオパチー、内分泌障害によるミオパチー、先天性ミオパチー、筋強直症候群、周期性四肢麻痺

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 浦（うら） 茂久（しげひさ） | 院長補佐<br>部　長 | 日本神経学会専門医・指導医（代議員）<br>日本内科学会総合内科専門医<br>プライマリ・ケア認定医<br>日本神経治療学会（評議員）<br>北海道大学医学部医学科臨床指導准教授<br>日本認知症学会専門医<br>日本神経感染症学会評議員 | 平成8年 |
| 脇田（ワキタ） 雄大（マサヒロ） | 医　師 | **専門分野：**脳神経内科<br>日本内科学会認定内科医<br>日本神経学会神経内科専門医 | 平成25年 |
| 石丸（いしまる） 智己（ともき） | 医　師 | **専門分野：**歯科口腔外科 | 平成31年 |
| 布村（ぬのむら） 菫（すみれ） | 医　師 | **専門分野：**脳神経内科 | 平成31年 |

# 脳神経内科 Neurology

旭川赤十字病院

## 診療予定表

初診　8:00～12:00

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 初 診 | 浦 | 脇 田 | 石 丸 | 脇 田 | 布 村 |
| 再 診 | 石 丸 | | 浦 | 浦 | 脇 田 |
| | | | 布 村 | | |
| 再診（奇数週） | | 浦 | | | |
| 物忘れ外来 | | | | | 浦 |

## 診療部長よりひとこと

旭川を含めた道北地方はもとより、空知地方やオホーツク地方も一部含めた脳神経内科拠点病院として24時間体制で患者を受け入れており、神経学会専門医を含めたおよそ4名体制で診療を行なっております。

パーキンソン病を含めた神経難病に対しては全ての薬物治療が可能でありデバイス療法としてL-ドパ持続経腸療法や北大と連携し手術療法も可能であります。神経難病や筋ジストロフィーなどの疾患に対しては短期集中リハビリ療法も行っております。また、神経難病のみならず頭痛、てんかん、認知症、脳梗塞などのcommon diseaseにも全て対応可能で、認知症に関しては週1回の認知症専門医による完全予約制の物忘れ外来も行なっております。自己免疫疾患に関しては血漿交換療法や大量γグロブリン療法も可能で、緊急対応も可能です。神経内科領域の治療は日進月歩で進化しており極力新規医薬品や治療法も導入に勤めております。ボトックス治療も行なっています。

地域の神経内科医、他科の医師や訪問看護師、ソーシャルワーカー、保健師、薬剤師、リハビリテーションスタッフとも連携し定期的にカンファレンスや研究会、勉強会も開催しており交流を深めるように勤めております。当院のみで対応困難と判断した場合や患者さんの希望がございましたら北大や札幌市内の病院ともセカンドオピニオンなどの連携も行なっております。

何か疑問点やご不明点などございましたら電話対応も可能ですので気軽にお問い合わせ下さい。

# 総合診療科（院内標榜）　General medical department

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

総合診療科は「本院への紹介が必要だが紹介すべき診療科が特定できない」「診療科はある程度予測しているが専門診療科への紹介が適当かどうか疑われる」など、従来本院では対応出来ていなかった分野に対応することを目的に開設された、本院の新たなgatewayです。総合診療科は紹介頂いた患者さんを専門診療科に引き継ぐ橋渡し的な役割ですが、総合診療科として診療を完結する場合もあります。

一般の方々が「何科にかかったら良いかわからない」「総合的に診てほしい」という場合は、まず電話でお問い合わせ下さい。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| やまざき　こうすけ<br>山崎　弘資 | 部　長 | **専門分野：**外科（肺、乳腺、食道）、がん薬物療法<br>腫瘍学<br>医学博士<br>日本外科学会認定登録医<br>日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医<br>産業医<br>マンモグラフィ読影医<br>病院総合医 | 昭和58年 |

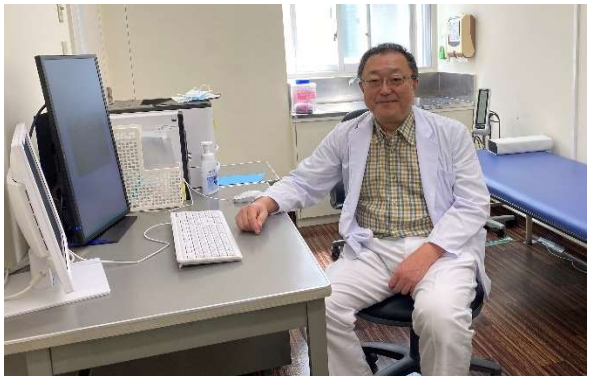
## 外来担当医

（初診　8:00～15:00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 山 崎 | 山 崎 | 山 崎 | 山 崎 | 山 崎 |

## 診療部長よりひとこと

総合診療科と類似した呼称に総合診療内科、総合内科などがあります。また、医療機関により総合診療科が取り扱う範囲も様々です。当院の総合診療科は、専門診療科の隙間を埋める、敷居の低い紹介受付窓口であり、専門診療科への橋渡し役を担っています。また、私が外科医であることもあり、総合診療内科、総合内科ではない、外科的病態にも対応可能な総合診療科を目指しています。



# 血液・腫瘍内科　Hematology and Oncology

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

当科の診療内容は造血器腫瘍を主とした各種血液疾患の診療です。白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性疾患や、特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血、溶血性貧血と言った難病指定疾患を含む幅広い疾患の治療に取り組んでいます。

血液の領域では道内でも数少ない骨髄バンク・臍帯血バンク認定施設として、年間約10～20例の造血幹細胞移植を実施しており、全国でもトップレベルの良好な成績をおさめています。また、日々めざましく進歩する分子標的治療、免疫療法、分化誘導療法など各分野の最新の治療を幅広く取り入れ、常に最先端の医療を提供できるよう日々努力しています。

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 小沼（こぬま）　祐一（ゆういち） | 部　長 | **専門分野：**血液疾患一般、造血幹細胞移植<br>日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医<br>日本血液学会認定血液専門医・指導医<br>日本内科学会認定内科医<br>札幌医科大学臨床教授 | 平成8年 |
| 酒井（さかい）　俊郎（としろう） | 部　長 | **専門分野：**血液疾患一般、造血幹細胞移植<br>日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医<br>日本血液学会認定血液専門医・指導医<br>日本内科学会認定内科医 | 平成8年 |
| 佐藤（さとう）　健（けん） | 医　師 | **専門分野：**血液疾患一般、内科一般<br>日本内科学会認定内科医<br>日本血液学会認定血液専門医<br>日本消化器病学会消化器病専門医<br>日本輸血・細胞活療学会細胞治療認定管理師<br>公益財団法日本骨髄バンク調整医師 | 平成25年 |
| 関口（せきぐち）　柚史（ゆずふみ） | 医　師 | **専門分野：**血液・腫瘍内科 | 令和2年 |

## 外来担当医

（初診：8：00～11：00）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 小 沼 | 佐 藤 | 休 診 | 酒 井 | 関 口 |

# 皮膚科 Dermatologist

旭川赤十字病院

## 対象疾患

●帯状疱疹：重症患者に対する入院治療、痛みの治療（神経ブロックを含めた麻酔科的な対応はしていません）、発症予防のためのワクチン接種（条件があるため、希望される皆様すべてが任意接種できるわけではありません）

●褥瘡

●色素性病変（いわゆる「しみ」や色素性の「あざ」も対象となります）に対するレーザー治療

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| 木ノ内（きのうち）　基史（もとし） | 院長補佐<br>部　長 | 皮膚科専門医 | 昭和63年 |
| 小松（こまつ）　麻衣（まい） | 医　師 | | 平成29年 |

## 診療予定表

初診（8:00～11:30）

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 木ノ内 | 木ノ内 | 小 松 | 木ノ内 | 木ノ内（小松） |
| 小 松 | 小 松 | | | |

＊木曜日は手術のため、入院・外来の診察申込（紹介）はお控えください。（緊急時を除く）

# 放射線科 Radiology Department

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

・当科は、2006年4月に新規診療科として稼動し、発足より約16年が経過しました。スタッフは3名であり、院内外の放射線画像診断、IVRを中心とした業務を行っております。

・画像診断業務はCT、MRIを中心としており、一部、核医学、超音波検査も含んでおります。IVRは各診療科の依頼により腹部を中心とした血管造影、止血手技、CT/USガイド下穿刺、CVポート留置等を行っています。

・画像診断領域における診断機器の進歩は極めて早く、ほぼ数年ごとのサイクルで、最新機器が出現していますが当院では、X線CT装置2台（64列、320列MDCT，dual enegy CT）、MRI装置3台（1.5、3T）、ガンマカメラ2台、血管造影装置2台、超音波検査装置4台、RIS、PACS、読影ビュワー等が完備しています。現時点で最先端の画像診断機器、読影環境が導入され、時代に先駆けた画像診断を行っております。

## 医師紹介

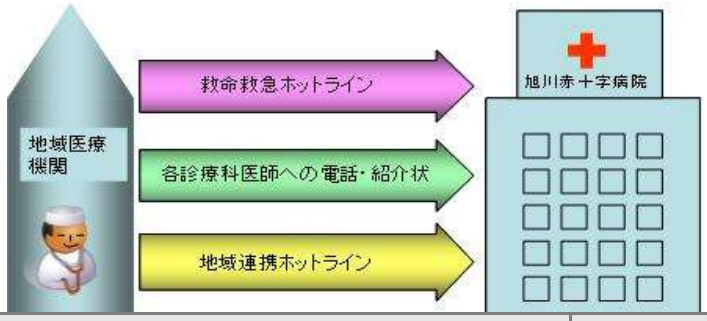
| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| みねた　まさゆき<br>峯田　昌之 | 部　長 | **専門分野：**画像診断一般<br>麻酔科標榜医<br>日本医学放射線学会放射線専門医<br>医学博士 | 昭和60年 |
| ながさわ　けんいち<br>長沢　研一 | 部　長 | **専門分野：**IVR 、画像診断<br>日本医学放射線学会専門医<br>日本IVR学会専門医<br>放射線取扱主任者一種 | 平成9年 |
| たかだ　ようこ<br>髙田　陽子 | 副部長 | **専門分野：**放射線診断・IVR<br>放射線診断専門医<br>核医学専門医・PET核医学認定医<br>放射線学会研修指導者 | 平成16年 |

# 地域連携科　Radional Cooperation Department

旭川赤十字病院

## 診療科の概要

地域連携科は地域の医療機関から旭川赤十字病院への患者紹介を円滑に行うために設置されました。地域連携ホットラインを担当しており、地域の医療機関が旭川赤十字病院に患者様を紹介する際の受け入れ窓口の一つとして、また、受け入れの相談窓口としての機能を果たしています。




## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| くにもと　まさゆき<br>國本　雅之 | 院長補佐<br>部　長 | **専門分野：**脳神経外科、脳卒中<br>日本脳神経外科学会専門医<br>日本脳卒中学会専門医 | 昭和59年 |
| こうだ　きゅうへい<br>幸田　久平 | 医　師 | **専門分野：**1.消化器癌、血液癌の化学療法<br>2.造血幹細胞移植（骨髄移植・末梢　血幹細胞移植・臍帯血移植）<br>3.末期癌の緩和医療（終末期医療）<br>札幌医科大学医学博士 | 昭和52年 |

# 病理診断科　Diagnostic Pathology

## 診療科の概要

病理組織診断・細胞診・病理解剖の業務を担当

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| おばた　まさひこ<br>小幡　雅彦 | 部　長 | **専門分野：**外科病理学、腫瘍病理学<br>日本病理学会病理専門医研修指導医<br>日本臨床細胞学会認定細胞診専門医<br>日本病理学会認定病理専門医<br>医学博士<br>日本専門医機構認定病理専門医<br>日本臨床細胞学会教育研修指導医 | 平成6年 |
| きくち　ともき<br>菊地　智樹 | 副部長 | **専門分野：**外科病理学<br>病理専門医研修指導医 | 平成13年 |

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| あいもの　まこ<br>四十物　摩呼 | 部　長 | **専門分野：**臨床麻酔、救急集中治療<br>日本麻酔科学会専門医・指導医<br>麻酔科標榜医 | 平成5年 |
| とびせ　ふみのり<br>飛世　史則 | 部　長 | **専門分野：**臨床麻酔、救急・集中治療<br>麻酔科標榜医<br>日本麻酔科学会指導医<br>日本集中医学会専門医<br>日本心臓血管麻酔学会経食道心エコー認定医 | 平成11年 |
| おおぬま　ゆきよ<br>大沼　幸代 | 医　師 | 日本麻酔科学会専門医<br>麻酔科標榜医 | 平成10年 |
| ふくもと　なつみ<br>福本　菜津実 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科<br>麻酔科認定医 | 平成27年 |
| こんどう　まみこ<br>近藤　麻美子 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科<br>日本麻酔科学会認定医<br>麻酔科標榜医 | 平成28年 |
| たかはし　ゆきこ<br>髙橋　友妃子 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科 | 平成28年 |
| よしなか　あさみ<br>吉仲　阿佐美 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科<br>麻酔科標榜医 | 平成29年 |
| しげもと　まもる<br>重元　守 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科<br>日本麻酔科学会認定標榜医 | 平成29年 |
| ささき　だいすけ<br>佐々木　大輔 | 医　師 | **専門分野：**麻酔科<br>厚生労働省認定麻酔科標榜医 | 平成30年 |
| ほしか<br>星加　りさ | 医　師 | **専門分野：**麻酔科 | 平成31年 |

# 救命救急センター

旭川赤十字病院

## 医師紹介

| 医師名 | 役職 | 専門分野/認定・専門等 | 卒業年次 |
|---|---|---|---|
| こばやし いわお<br>小林　巌 | 副院長<br>センター長 | **専門分野：**救急・集中治療<br>日本麻酔科学会指導医<br>日本救急医学会専門医<br>麻酔科標榜医<br>日本集中治療学会専門医<br>札幌医科大学医学博士<br>日本航空医療学会指導医 | 昭和62年 |
| おおとも げん<br>大友　元 | 部　長 | **専門分野：**内科・救急<br>日本内科学会認定医・総合内科専門医<br>日本救急医学会救急科専門医<br>日本航空医療学会医師指導者<br>AHA-ACLSインストラクター<br>日本外傷学会JATECインストラクター<br>臨床研修指導医<br>緩和ケア研修会修了<br>日本DMAT登録<br>FCCSプロバイダー | 平成16年 |
| かわた だいすけ<br>川田　大輔 | 部　長 | **専門分野：**救急医学、集中医学、麻酔<br>日本救急医学会専門医<br>日本集中医学会専門医<br>日本麻酔科学会専門医 | 平成14年 |

# 診療予約手順について

旭川赤十字病院

地域医療連携室では、ご紹介いただく患者様のＦＡＸ予約を実施しております。事前に診療情報提供書をいただくことにより、当日の待ち時間の短縮に努めております。

① 診療予約申込書に必要事項をご記入ください。
※ホームページからダウンロードできます。

② 地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
※診療情報提供書も併せてFAX願います。

③ 日時が決定したら、地域医療連携室より「受診日程のご連絡」をFAX送信いたします。

④ 診療情報提供書の原本を患者様にお渡しの上、受診当日にご持参ください。

## 注意事項

1.
お申込みいただいてから(FAX確認後)15分程度で診療日時をご連絡いたします。

2.
受付時間は平日8：30～16：30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承願います。

3.
診療科によっては、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡いたします。

4.
当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

5.
受診日前日までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、　地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

# 旭川赤十字病院　診療予約申込書（FAX専用）

申込年月日　　年　　月　　日

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号
**地域医療連携室　宛**
**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**
**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**

〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休 診 日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

紹介元

| |
|---|
| 住　所：　〒 |
| 医療機関名： |
| 主 治 医： |
| ＴＥＬ：　　ＦＡＸ： |
| 担 当 者： |

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | あり　患者番号（　　-　　）・　なし・不明 | | | | |
| フリガナ<br>患者氏名 | 様 | 男<br>女 | 生年月日 | 大・昭<br>平・令 | 年　月　日（　歳） |
| 住所 | 〒 | | | 電話番号 | ―　　― |

**該当箇所にご記入をお願いします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傷病名 | | | |
| 依頼目的 | | | |
| 希望日時 | 第1希望　月　日　時頃 | 第2希望　月　日　時頃 | 希望なし |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：無・有（医療機関名：　　受診日：　月　日）<br>入　院：無・有（医療機関名：　　入院期間：　月　日～　月　日） | | |

**ご希望の診療科に○をつけてください。**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 内分泌内科 | 糖尿内科 | 呼吸器内科 | 腎臓内科 | 血液・腫瘍内科 |
| 消化器内科 | 肝臓外来 | 循環器内科 | 脳神経内科 | 脳神経外科 |
| 外科 | 整形外科 | 形成外科 | 泌尿器科 | 心臓血管外科 |
| 小児科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 呼吸器外科 |
| 皮膚科 | 総合診療科 | 歯科口腔外科（インプラント・抜歯） | | |
| 物忘れ外来<br>※毎週金曜日 | 肛門外来<br>※毎週水曜日 | 減量サポート・外科治療センター<br>※毎週火曜日 | | 内視鏡外科外来<br>※毎週火曜日 |

| | |
|---|---|
| 希望医師 | あり　（医師名　　）　なし |

例

# 旭川赤十字病院　診療予約申込書（FAX専用）

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号
**地域医療連携室　宛**
**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**
**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**
〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休 診 日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

申込年月日 2021 年 5 月 15 日

紹介元
住 所 〒
医療機関名
主治医：
TEL：　　FAX：
担当者：

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号のみ記入いただき、患者情報の記入は不要です。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | あり　患者番号（　　-　） | | なし　・　不明 |
| フリガナ<br>患者氏名 | ニッセキ　タロウ<br>日赤　太郎　様　男 | 月日 | 大・昭<br>55年 5 月 1 日　（ 41 歳） |
| 住所 | 〒070-8530<br>旭川市曙〇条〇丁目〇 | | ―〇〇〇〇 |

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみの記入で構いません。

**該当箇所にご記入をお願いします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傷病名 | | | |
| 依頼目的 | | | |
| 希望日時 | 第1希望　6 月　1　日　時頃 | 第2希望　6 月　3　日　時頃以外 | 希望なし |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：　無　・　有（医療機　〇〇クリニック　受 診 日：5月 1 日）<br>入　院：　無　・　月　日） | | |

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

受診希望日、もしくは都合の悪い
お日にちをご記入ください。
希望日がない場合は、希望なし
に〇をつけてください。

**ご希望の診療科に〇をつけてくださ**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 内分泌内科 | 糖尿 | | | 血液・腫瘍内科 |
| 消化器 科 | 肝臓 | | | 脳神経外科 |
| 外科 | 整形外科 | 形成外科 | 泌尿器科 | 心臓血管外科 |
| | | | 耳鼻咽喉科 | 呼吸器外科 |
| | | | インプラント・抜歯） | |
| ※毎週金曜日 | ※毎週水曜日 | | | |

複数科受診希望の場合は、希望の科
すべてに〇をつけてください。
※診療情報提供書は科ごとの
作成および事前のFAXをお願いします。

| | | |
|---|---|---|
| 希望医師 | あり　（医師名　　） | なし |

2021.6

# 医療機器の共同利用について

旭川赤十字病院

当院が所有する医療機器を地域の医療機関の先生方に活用していただくことを目的に、高度医療器の共同利用を行っております。当院で検査のみを行い、検査結果と放射線科医の読影レポートを原則検査翌日に依頼元の医療機関へ発送しております。また、異常があり緊急対応が必要な場合、当院で処置し、依頼元へ直ちに結果報告を行っております。当院の高度医療機器を活用し、地域の先生方にお役立ていただければ幸いです。是非、この機会に共同利用をご活用ください。

① 共同利用申込書に必要事項をご記入ください。

※ホームページからダウンロードできます。

※造影剤を使用する検査をご希望の場合は造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)・造影検査説明書のご記入と併せてFAXをお願いいたします。

② 地域医療連携室までFAXをお願いいたします。

※診療情報提供書も併せてFAX願います。

FAX

③ 検査日時が決定したら、地域医療連携室より「検査日程のご連絡」をFAX送信いたします。

④ 診療情報提供書の原本を患者様にお渡しの上、検査日当日にご持参ください。

## 注意事項

1.
お申込みいただいてから（FAX確認後）15分程度で検査日時をご連絡いたします。

2.
受付時間は平日8：30～16：30となっております。受付時間外にお申込みいただいた場合、当院からの 返信は翌日または休診日明けの返信となりますのでご了承願います。

3.
検査内容によって、日程の調整に時間がかかる場合がございます。また、お申込みの内容によっては、追加情報を依頼する場合がございますので、予めご了承ください。この場合、当室よりご担当者様に連絡いたします。

4.
当院からの返信が確認できない場合は、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

5.
検査日前までに診療情報提供書の作成をお願いいたします。診療情報提供書作成後は、地域医療連携室までFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

6.
造影検査をご希望の場合は、申込時に造影検査説明書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)と造影検査説明書を併せてFAXのうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

# 旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI（FAX専用）

申込年月日　　年　　月　　日

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号

**地域医療連携室　宛**

**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**

**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**

〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休 診 日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

紹介元

住　所：　〒

医療機関名：

主 治 医：

ＴＥＬ：　　ＦＡＸ：

担 当 者：

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | あり　患者番号（　　-　　）・ | なし ・ 不明 | | |
| フリガナ<br>患者氏名 | 様　男<br>女 | 生年月日 | 大・昭<br>平・令　年　月　日（　歳） | |
| 住所 | 〒 | | 電話番号 | ―　　― |

**該当箇所にご記入お願いします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傷病名 | | | |
| 依頼目的 | | | |
| 希望日時 | 第1希望　月　日　時頃 | 第2希望　月　日　時頃 | 希望なし |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：　無　・　有（医療機関名：　　受 診 日：　月　日）<br>入　院：　無　・　有（医療機関名：　　入院期間：　月　日～　月　日） | | |

**該当箇所に○をつけてください。**

| | | |
|---|---|---|
| 読影 | 要　・　不要 | |
| 造影 | 無　・　有 | 1.造影検査の場合はMRI用の「造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。<br>2.有の場合は下記①～③のチェック願います。<br>①腎機能障害　：　無　（BUN値：　　Cr値：　　）　・　有<br>②MRI造影剤過敏症　：　無　・　有　③喘息　：　無　・　有 |
| 部位 | 脳　頸椎　胸椎　腰椎　肝　腎・副腎　前立腺　その他（　　） | |
| 問診 | ★下記の項目(①～⑧)について該当する項目がございましたら○をつけてください。<br>①心臓ペースメーカー　②人工内耳や神経刺激装置<br>③磁力で装着する義眼　④カプセル内視鏡 または イレウス管<br>⑤体内金属や精密機械 ～　人工弁・脳動脈瘤クリップ・V-P(L-P)シャント・人工関節・髄内釘<br>ステント・外傷による金属(鉄片や銃弾等)・置き針・避妊リング・その他(　　)<br>⑥一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置　⑦歯科インプラント<br>⑧入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等)※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。 | |
| 注意事項 | 1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。<br>2.上記①～④で「有」の場合、MRI検査はできません。<br>3.上記⑤～⑧で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。<br>撮影不可とされた場合、予約は出来ません。 | |

2021.6

例

# 旭川赤十字病院 共同利用申込書 MRI （FAX専用）

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号
**地域医療連携室　宛**
**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**
**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**
〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休 診 日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

申込年月日 2021 年 5 月 15 日

紹介元
住 所 〒
医療機関名：
主治医：
TEL：　　FAX：
担当者：

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号のみ記入いただき、患者情報の記入は不要です。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | あり　患者番号（　　-　）・ | なし ・ 不明 | |
| フリガナ<br>患者氏名 | ニッセキ　タロウ<br>日赤　太郎　様　男 女 | 月日 | 大・昭 平・令　55 年 5 月 1 日（41 歳） |
| 住所 | 〒070-8530<br>旭川市曙〇条〇丁目〇 | | 〇〇〇〇 |

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみの記入で構いません。

**該当箇所にご記入お願いします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傷病名 | | | |
| 依頼目的 | | | |
| 希望日時 | 第1希望　6 月 1 日　時頃 | 第2希望　6 月 3 日　時頃 以外 | 希望なし |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：無 ・ 有（医療機関名　〇〇クリニック　受 診 日：5 月 1 日）<br>入 院：無 ・ 有 | | |

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちをご記入ください。
希望日がない場合は、希望なしに〇をつけてください。

**該当箇所に〇をつけてください。**

| | |
|---|---|
| 読影 | 要 ・ 不要 |
| 造影 | 無 ・ 有 |
| 部位 | 脳　頸椎　胸椎　腰椎 |
| 問診 | ★下記の項目(①～⑧)につい<br>①心臓ペースメーカー<br>③磁力で装着する義眼<br>⑤体内金属や精密機械 ～　人工弁・脳動脈瘤クリップ・V-P(L-P)シャント・人工関節・髄内釘　撮影可<br>ステント・外傷による金属(鉄片や銃弾等)・置き針・避妊リング・その他(　　)<br>⑥一週間以内に内視鏡での胃腸のポリープ切除あるいは止血処置　⑦歯科インプラント<br>⑧入れ墨(タトゥー)やアートメイク(まゆ毛、アイライン等)※脱色、やけど、皮膚の炎症を起こす可能性があります。 |
| 注意事項 | 1.MRIが使用できない体内金属が判明した場合は検査を中止することがあります。<br>2.上記①～④で「有」の場合、MRI検査はできません。<br>3.上記⑤～⑧で「有」の場合、MRI検査の可否について事前に確認願います。<br>撮影不可とされた場合、予約は出来ません。 |

読影の要・不要、造影の無・有については必ず該当箇所に〇をつけてください。
※造影有の場合は「造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)」と「造影検査説明書」を
併せてFAX及び、①～③のﾁｪｯｸをお願いいたします。

体内金属が判明した場合は検査を中止する場合が
ございますので、**問診内容の確認**をお願いいたします。
⑤～⑧で有の場合は撮影可能かの確認をお願いします。

2021.6

# 旭川赤十字病院 共同利用申込書（FAX専用）
## CT・RI・超音波・生理機能検査

申込年月日　　年　　月　　日

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号

**地域医療連携室　宛**

**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**
**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**

〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休 診 日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

紹介元

住　所：　〒

医療機関名：

主 治 医 ：

ＴＥＬ：　　ＦＡＸ：

担 当 者 ：

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号と患者氏名のみ記入で構いません。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | あり　患者番号（　　-　　）・　なし・不明 | | |
| フリガナ<br>患者氏名 | 様　男<br>女 | 生年月日 | 大・昭<br>平・令　　年　月　日（　歳） |
| 住所 | 〒 | 電話番号 | ―　　― |

**該当箇所にご記入をお願いします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 傷病名 | | | |
| 依頼目的 | | | |
| 希望日時 | 第1希望　月　日　時頃 | 第2希望　月　日　時頃 | 希望なし |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：　無・有（医療機関名：　　受診日：　月　日）<br>入　院：　無・有（医療機関名：　　入院期間：　月　日～　月　日） | | |

**該当箇所に〇をつけてください。**

| | | |
|---|---|---|
| 読影 | 要　・　不要 | |
| 造影 | 無・有 | 1.造影検査の場合はCT用の「造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)」と「造影検査説明書」も併せてFAX願います。<br>2.有の場合は下記①～③のチェック願います。<br>①腎機能障害　：　無　（BUN値：　　Cr値：　　）・有<br>②CT造影剤、ヨード過敏症　：　無・有　　③重篤な甲状腺疾患　：　無・有 |

**希望の検査項目・部位に〇をつけてください。**

| 検査項目 | 検査部位 |
|---|---|
| CT | 頭部　頚部　胸部　胸腹部(胸～骨盤)　腹部(肝～骨盤)　その他(　　) |
| RI | 骨シンチ(体重：　　)　ガリウムシンチ(体重：　　)　脳血流SPECT<br>DATスキャン　　甲状腺Tcシンチ　　その他（　　） |
| 超音波 | 頚部　　腹部（部位：　　） |
| 生理機能検査 | 脳波　　肺機能検査　　生理機能検査は、検査結果のみとなります。 |

2021.6

例

# 旭川赤十字病院 共同利用申込書（FAX専用）
## CT・RI・超音波・生理機能検査

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目１番１号
**地域医療連携室　宛**
**ＦＡＸ：0166-22-8287（直通）**
**ＴＥＬ：0166-22-8133（直通）**
〈受付時間〉 8：30～16：30
〈休　診　日〉 **土日・祝日**
**12月29日～1月3日**
**5月1日（開院記念日）**

申込年月日 2021年 5 月 15 日

紹介元

| | |
|---|---|
| 住所 〒 | |
| 医療機関名 | |
| 主治医： | |
| TEL： | FAX： |
| 担当者： | |

紹介元情報を記入してください。
※ご担当者様のお名前も
忘れずにご記入お願いします。

**患者情報　※患者番号がわかる場合は番号のみ記入いただき、患者情報の記入は不要です。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 旭川赤十字病院　受診歴 | (あり)・なし・不明 | 患者番号（　　-　　） | |
| フリガナ<br>患者氏名 | ニッセキ　タロウ<br>日赤　太郎 | 様　(男)・女 | 生年月日　大・(昭)・平・令　55年 5 月 1 日（ 41 歳） |
| 住所 | 〒 070-8530<br>旭川市曙〇条〇丁目〇 | | -〇〇〇〇 |

患者番号がわかる場合は番号と
患者氏名のみの記入で構いません。

**該当箇所にご記入をお願いします。**

| | |
|---|---|
| 傷病名 | |
| 依頼目的 | |
| 希望日時 | 第1希望　6月　1　日　時頃　／　第2希望　6　月　3　日　時頃以外　／　(希望なし) |
| 直近1か月の他院受診歴 | 外来受診：　無・(有)（医療機関名：〇〇クリニック　受診日：5月 1 日）<br>入　院：(無)・有（ |

診療情報提供書を添付いただければ、記載不要です。

受診希望日、もしくは都合の悪いお日にちを
ご記入ください。希望日がない場合は、希望なし
に〇をつけてください。

**該当箇所に〇をつけてください。**

| | |
|---|---|
| 読影 | (要)・不要 |
| 造影 | (無)・有 |

読影の要・不要、造影の無・有については
必ず該当箇所に〇をつけてください。
※造影有の場合は「造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)」と「造影検査説明書」を併せてFAX及び、①～③のﾁｪｯｸをお願いいたします。

**希望の検査項目・部位に〇を**

| | |
|---|---|
| 検査項目 | |
| (CT) | 頭部　頚部　(胸部)　胸腹部(胸～骨盤)　腹部(肝～骨盤)　その他(　　) |
| RI | 骨シンチ(体重：　　)　ガリウムシンチ(体重：　　)　脳血流SPECT<br>DATスキャン　甲状腺Tcシンチ　その他（　　） |
| 超音波 | 頚部　腹部（部位：　　） |
| 生理機能検査 | 脳波　肺機能検査　生理機能検査は、検査結果のみとなります。 |

2021.6

# 旭川赤十字病院　予約申込時の注意事項

## 〈診療予約申込について〉

1.申込時は、**診療予約申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
3.**重要：呼吸器内科、血液・腫瘍内科**を予約する場合、**診療情報提供書も同時にFAX**してください。
4.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
5.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
**平日受付時間内**の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
**平日受付時間外（金曜除く）**の場合は、**翌日の返信**となります。
**金曜時間外、休診日の場合**は、**休診日明けの返信**となります。
6.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
7.**受診日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。

## 〈共同利用予約申込について〉

1.申込時は、**共同利用申込書の太枠内**に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAXをお願いいたします。
2.当院の患者番号がわかる場合は、**患者番号と患者氏名のみ**記入いただき、**患者情報の記入は不要**です。
3.お申込みの内容によっては、追加情報をご依頼する場合があります。（担当者様にご連絡いたします）
4.予約日時が決まりましたら、FAXで返信いたします。
**平日受付時間内**の場合は、**FAX確認後15分程度**の時間を要します。
**平日受付時間外（金曜除く）**の場合は、**翌日の返信**となります。
**金曜時間外、休診日の場合**は、**休診日明けの返信**となります。
5.当院からの**返信が確認できない場合**、お手数ですが**地域医療連携室までお電話**をお願いします。
6.**検査日前までに診療情報提供書の作成**をお願いいたします。
診療情報提供書作成後は**地域医療連携室にFAX**のうえ、原本は当日患者さんに持参させてください。
7.**造影検査**を希望の場合は、申込時に**造影検査同意書(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)と造影検査説明書**を併せてFAXのうえ、
原本は当日患者さんに持参させてください。

〈共同利用予約時間一覧〉

| | | 月曜日 | | 火曜日 | | 水曜日 | | 木曜日 | | 金曜日 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午前 | 午後 |
| CT・MRI | | 11:00～11:30 | 15:00～15:30 | 11:00～11:30 | × | 11:00～11:30 | 15:00～15:30 | 11:00～11:30 | 15:00～15:30 | 11:00～11:30 | × |
| RI | 骨シンチ | 11時頃注射(14時頃撮影) | × | × | | 11時頃注射(14時頃撮影) | × | 11時頃注射(14時頃撮影) | × | × | |
| | 腫瘍シンチ ガリウムシンチ | ○ (注) | | ○ (注) | | ○ (注) | | ○ (注) | | ○ (注) | |
| | 脳血流スペクト | × | | 11:00～11:45 | × | × | | × | | 11:00～11:45 | × |
| | DATスキャン | 12時頃注射(15時頃撮影) | | × | | 12時頃注射(15時頃撮影) | | 12時頃注射(15時頃撮影) | | × | |
| 超音波（腹部・甲状腺） | | 12:00頃 | | 11:00頃 | | 12：00頃 | | 12：00頃 | | 11：00頃 | |
| 脳波 | | 9:00～15:00 | | 9:00～15:00 | | 9:00～15:00 | | 9:00～15:00 | | 9:00～15:00 | |
| 肺機能検査 | | 9:00～11:00 | | 9:00～11:00 | | 9:00～11:00 | | 9:00～11:00 | | 9:00～11:00 | |
| 検査可能人数/日 | | 4名 | | 3名 | | 4名 | | 4名 | | 3名 | |

・予約時間は当日の検査状況によって多少お待ちいただく場合がございます。
・詳しくは地域医療連携室までお問い合わせください。
(注)時間は要相談となります。

2021.6

# 開放病床の利用について

旭川赤十字病院

当院では、地域の医療機関の先生方にお役立ていただけるよう開放型病床を5床確保しております。ご利用を希望される場合は、地域医療連携室までご連絡いただきますようお願いいたします。

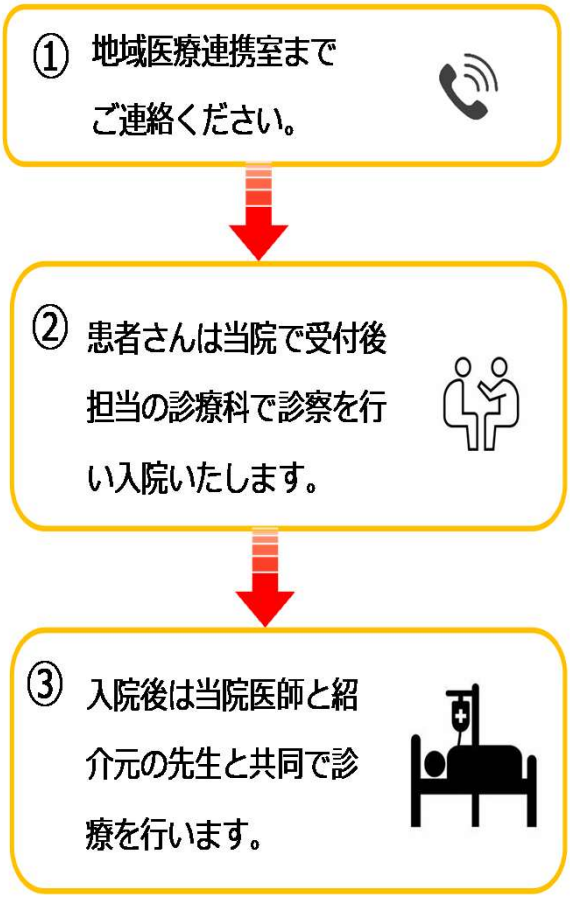
## 開放型病床の流れ

1.
開放ベッドの入院を希望される場合は、地域医療連携室までお電話にてご連絡 ください。
当日の担当医におつなぎいたします。
※受付時間は平日8時30分～17時00分まで

2.
患者さんは紹介状専用受付にて受付後、診察を行い診療科を決定し入院いたします。

3.
診療は当院医師と紹介元の先生と共同で行います。

4.
翌日以降の入院の継続もしくは、退院の決定についても当院医師と紹介元の先生と共同で行います。



# たいせつ安心i医療ネットのご案内

旭川赤十字病院

旭川市内の全ての公的病院が情報提供施設となり、地域内での情報の共有、救急医療での情報利用を目的とした地域医療ネットワークです。ネットワークに参加された医療機関では、情報提供施設における電子カルテ等の診療情報を、インターネットの介して閲覧することができます。

たいせつ安心i医療ネットをご利用いただくには、当ネットワークシステムへのご入会が必要となります。お申込みについては下記のたいせつ安心i医療ネット事務局までお問い合わせください。

## お問い合わせ先

旭川市医師会（たいせつ安心i医療ネット協議会事務局）

〒070-0029　旭川市金星町1丁目1番50号
TEL　0166-23-5728
FAX　0166-24-5444
E-mail：t-ansin-i-net@ahmic21.ne.jp

# 医療支援センターのご案内

旭川赤十字病院

医療支援センターは入院前から退院支援に向けての対応をはじめ退院後の支援も一元的に実施すること、入退院を繰り返す患者様が、安心して在宅療養ができるサポート体制を作るために入退院支援室、地域医療連携室、訪問看護ステーションの3つの部署から組織されています。

## 入退院支援室

入退院支援室は、患者様が安心して入院・治療し退院を迎えられるように支援するところです。患者様一人ひとりの身体的、精神的、社会的、経済的背景を理解し、入院前から退院後の生活を見据えて、療養移行や社会復帰を支援いたします。

入退院支援室では皆様が安心して治療に専念していただけるよう、保健師、看護師、医療ソーシャルワーカーを配置しており、それぞれの専門性を生かし、院内外の関係者と連携いたします。

入院の予定がある方は、入院支援コーナーで、入院の目的、日常の生活状況や入院までの経過を伺い、入院時に準備するものや入院生活についての説明をさせていただきます。

入院中は、担当の保健師、看護師や医療ソーシャルワーカーが主治医や関係多職種との情報共有を受けて、病棟やベッドサイドで、医療費に関すること退院後の医療や福祉サービスの利用、介護の継続事項などの相談をさせていただきます。

ご来院いただく場合は、窓口８番の医療支援センター患者相談窓口です。

がん相談支援センターの役割も担っております。お気軽にご相談ください。

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目
旭川赤十字病院　⑧医療支援センター　患者相談窓口
（二条通り側 玄関横）
TEL：0166-22-8111
FAX：0166-22-8287

**入院支援コーナー**（内線1147）
退 院 支 援 係（内線1185）
相 談 支 援 係（内線3120）
療 養 支 援 係（内線3121）

# 医療支援センターのご案内

旭川赤十字病院

## 地域医療連携室

地域医療連携室は、平成11年10月に医事課内に設置され、平成23年4月1日より「医療支援センター」の1部署となりました。入退院支援室、訪問看護ステーションは患者様やそのご家族と関わることが多いのに対し、地域医療連携室は地域の医療機関と関わることが多い部署と言えます。

地域医療連携室では、地域の医療機関からの診療予約、CT・MRI等医療機器の共同利用、開放病床などの窓口を担っております。また、たいせつ安心ｉ医療ネットの運用管理を行っており、旭川市内及び市外の医療機関とのIT医療情報連携も行っております。さらに、地域医療支援病院として、地域住民の皆さまを対象とした教育講座や地域の医療機関を対象とした研修会、講演会等を開催しております。

このように、地域医療連携室では当院が地域医療支援病院の役割を果たすべく、かかりつけ医である開業医の皆様、地域の医療機関、福祉関連事業所のご担当者様と連携を図り、急性期医療を中心に質の高い医療を提供し、地域医療に貢献するべく、その対応窓口としての業務を行っております。

〒070-8530
旭川市曙１条１丁目
⑧　旭川赤十字病院　医療支援センター
（二条通り側 玄関横）

**地域医療連携室**
TEL：0166-22-8111（内線1188・1189）
FAX：0166-22-8287

## 旭川赤十字訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは、平成6年12月に、日本赤十字社北海道支部が、旭川赤十字病院の付帯事業として設置しました。

旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております旭川赤十字訪問看護ステーションは、旭川赤十字病院をはじめ、地域のクリニックや病院の先生から指示を受けて、利用者様のご家庭を訪問させていただいております。症状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアを、24時間365日、在宅で療養生活が送れるように支援させていただいております。常に、医師や関係機関と連携をとり、在宅ケアの充実を図ります。

医療支援センターの一部署として、院内の情報交換がスムーズで、より迅速な対応ができます。

〒070-8530
旭川市曙1条1丁目旭川赤十字病院内
医療支援センター

**旭川赤十字訪問看護ステーション**
TEL　0166-22-7218（直通）
FAX　0166-22-3375
メール houmonkango@asahikawa-rch.gr.jp

旭川赤十字病院

# 旭川赤十字病院ホットラインのご案内

当院では、専任の医師によるホットラインを設置しております。
以下の場合にご利用ください。

**医療機関様**

- 救命救急ホットライン
- 脳卒中・脳疾患ホットライン
- 地域連携ホットライン
- 各診療科医師への電話

**旭川赤十字病院**

## 救命救急ホットライン　090-8274-7931

- 救命救急センター医が24時間対応いたします

## 脳卒中・脳疾患ホットライン

## 070-6607-3148

《24時間対応》

- 脳卒中では迅速な初期対応が重要です
- 疑い症例も含め、迷った場合も躊躇せずご利用ください
- すべて断ることなく、対応させていただきます

## 地域連携ホットライン　080-5595-9191

以下の場合にご利用ください。　　対応時間　平日８：30～17：00》

- 救急ではないが、早く紹介したい
- どこの診療科に紹介してよいかわからない
- その他（患者紹介のことで相談したい等）

- 各ホットラインは医師から医師への連絡を目的に設置しております。
患者さまにお知らせすることがないようご協力の程よろしくお願いいたします。

日本赤十字社　旭川赤十字病院

旭川赤十字病院


# 旭川赤十字病院

〒070-8530

北海道旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

【発行部署】　地域医療連携室

TEL（代表）　0166-22-8111

TEL（直通）　0166-22-8133

FAX（直通）　0166-22-8287